

会長のページ 介護報酬改定について	河野 雅行	3
日州医談 ロコモティブシンドロームと周辺疾患	佐藤 信博	4
就任挨拶 宮崎大学医学部教授就任挨拶	天野 正宏	6
エコー・リレー(484)	三原 謙郎, 小松 弘幸	7
メディアの目 「方言」で地域の魅力を発信	濃明 修	11
宮崎大学医学部だより(解剖学講座超微形態学分野)	澤口 朗	14
専門分科医会だより(産婦人科医会)	濱田 政雄	15
ニューメンバー	菰刈 勇人, 室井 栄治	38
診療メモ 新興感染症 中東呼吸器症候群 (MERS Middle East Respiratory Syndrome)について	高城 一郎	64

宮崎県感染症発生動向	8
あなたできますか?(平成 26 年度医師国家試験問題より)	10
各都市医師会だより	12
第 3 回産業保健活動推進全国会議	16
第 2 回各都市医師会長協議会	20
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	22
日医インターネットニュースから	24
薬事情報センターだより(343)	26
希少疾病用薬品・希少疾病用医療機器・希少疾病用再生医療等製品	26
理事会日誌	28
県医の動き	34
追悼のことば	36
会員の異動・変更報告	40
ドクターバンク情報	43
行事予定	47
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	51
読者の広場	62
ベストセラー	62
宮大医学部学生のページ	66
平成 27 年総目次	70
あとがき	80

お知らせ 医療事故調査制度 相談窓口	19
宮崎県医療勤務環境改善支援センター	21
平成 27 年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	27
年末・年始の休館について	27
宮崎県医師会医療情報コーナー	33
県医師テニス大会(冬季)への参加のご案内	35
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	49
医師資格証を持っていますか?	63
都市医師会への送付文書	68

医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品 写真〕

夕照霧島

初冬の霧島山系は晩秋の名残を留めています。
陽が深く傾く頃、中岳へ続く丘陵は大きな影を伴いながら黄金色に染まり、薄らと雪化粧をした高千穂峰の舞台を飾っていました。本格的な冬の到来を前に、大自然の中で季節の移ろう様を目の当たりにした至福の一時でした。

小林市 や の ひろ し
矢 野 裕 士

会長のページ

介護報酬改定について

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

ニュースによると介護事業所の閉鎖が続いている。昨年、介護報酬が2.27%減額された影響であると言われている。減額の根拠は、介護事業所が他業種に比べて内部留保が過大であるとの指摘である。しかし、大部分の施設・事業所では、そのような豊かな事実はない。一部の事業所・業者が何故それ程過収益になるのか理解に苦しむところである。考えられるとすれば、介護サービスは、医療以外の分野も参入を認めたため、社会福祉として運営している事業所・施設から収益事業として捉えているものまで、さらに、比較的自由に設立できるものから設立制限があり収益の保証されている施設までが混在していることによる。それらを一括りに同列で取り扱うのは無理が生じる。様々な施設や事業所が乱立し、地域によっては供給過多となり経営困難に拍車を駆けているとの報告もある。儲け過ぎの一部の施設や業者に対しては指導・監査を徹底して対応すべきで、一律に介護報酬の切り下げを行うのは、偏った一部のデータを根拠にした間違った改定ではないか。今後も、立ち行かなくなる施設や事業所が出ることが予想される。一方、介護職員の給与は他業種に比べて低いと言われてきた。減額になる前の介護報酬ですら一般の介護事業所は経営が厳しく、給与支払い限界があったからである。今回の減額により、事業所の経営がさらに厳しくなり、支出の大部分を占める人件費アップに対応できなくなる。法的に決められたぎりぎりの陣容まで職員を減らして臨むしかない状況下では、当然サービス向上を目指しても、とても無理である。ただでさえ仕事の辛さや報酬の安さから辞めていく人が多い現場で、せめて給与の改善が充分でなければ、介護職に就く希望者は更に少なくなり、人材不足に拍車を掛ける事態になろう。今回の改定では、職員待遇改善の加算があるとの説明であるが、加算要件が厳しく実際は算定し難いものとなっている。いずれにしても全体の報酬が減っているのに、待遇改善の原資がどこから捻出できるのか、マジックの種明かしをお願いしたいものである。介護職員の就業改善・介護サービスの向上を図り、介護保険制度を充実するのであれば、小手先の加算等ではなく、報酬全体を上げるしかない。社会福祉・医療は教育、防衛等と並んで、国の重要な責務である。当然費用負担は生ずる。しかも国費を相当つぎ込んででも維持しなければならない部門である。財政重視のみの施策では国民の満足度が低下し、国や政治に対する信頼度が薄れて結局は国の衰微に繋がりがねない。経済を盛んにするのはひとえに財政のためではなく、国民に還元されなければ本末転倒となってしまう。

福祉・医療に関しては少なくとも現状では不十分で、出来れば改善していただきたいものである。
(平成27年11月19日)

日州医談



ロコモティブシンドロームと周辺疾患

理事 さとう のぶ ひろ
佐藤 信博

ロコモティブシンドロームは日本整形外科学会が、2007年(平成19年)に提唱したもので、「運動器の障害」により「要介護になる」リスクの高い状態になることを表している。最近、色々なところで目にするようになったので、皆様ご存知のことだろう。

本年10月1日～2日に開かれた社会保険指導者講習会のテーマは「ロコモティブシンドロームの全て」であった。ロコモティブシンドローム(運動器症候群)の概念の整理として、運動器不安定症、フレイル、サルコペニアなど周辺疾患との関係をまとめてみた。

(1)ロコモティブシンドローム(運動器症候群)は運動器障害周知のための概念であり、運動器の障害のために移動機能に低下を来した状態(概念)を示す。診断には①立ち上がりテスト、②2ーステップテスト、③身体状態・生活状況を判定するロコモ25を用い、正常、ロコモ度1、ロコモ度2と診断される。予防・対策としてロコモーショントレーニング、運動を習慣づけるなどがある。

(2)運動器不安定症は診療報酬体系の中での運動器リハビリテーションが独立したのに同期して2006年4月に提唱されたものである。定義は高齢化により、バランス能力および移動歩行能力の低下が生じ、閉じこもり、転倒リスクが高まった状態で保険上の疾患名である。診断基準は運動機能低下をきたす11疾患の既往があるか、または罹患している者の中で、日常生活自立度

のランクがJまたはA(要支援、要介護1、2)である、もしくは運動機能が低下している者(開眼片脚起立時間：15秒未満または、3 m Timed up and go test：11秒以上)とされている。予防としてはエビデンスのあるものは転倒予防である。

(3)サルコペニアはRosenbergが1989年に提唱した造語で、筋肉量が低下し、筋力または身体能力が低下した状態をいう。加齢による原発性サルコペニアと不活動、疾患、低栄養などによる二次性サルコペニアがある。診断には歩行速度、握力、補正筋量が用いられ、①正常、②フレ・サルコペニア、③サルコペニア、④重症サルコペニアに分類される。予防・介入としては運動(有酸素運動とレジスタンス運動)と栄養(低栄養予防・十分なタンパク質摂取・アミノ酸補充・ビタミンD)が推奨されている。

(4)さらにフレイルという概念がある。フレイルは老化に伴う様々な機能の低下(エネルギー予備力の枯渇状態)により、疾病発症や身体機能障害に対する脆弱性が増す状態をいう。高齢者、特に80歳以上の高齢者が要介護になる原因は、病気になるよりも、むしろこの虚弱が原因であることが多いと言われている。フレイルには①身体的フレイル、②社会的フレイル、③精神・心理的フレイルがある。診断基準には①歩行速度：通常歩行で<1 m/秒、②握力：男<26kg、女<18kg、③体重減少：6か月で2～3 kg以上の体重減少がある、④倦怠感：わけも

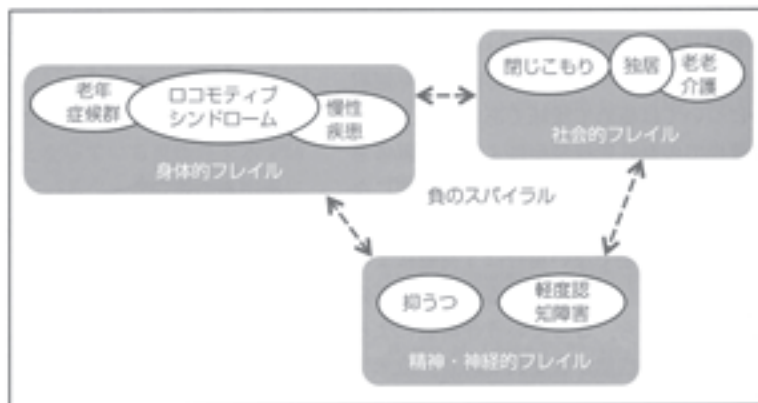
なく疲れた感じがある、⑤身体的活動度があり、3つ以上の項目が当てはまればフレイルと診断される。フレイルの有症率であるが、大阪府に在住の4,745名の調査では65～69歳：5.6%、70～74歳：7.2%、75～79歳：16.0%、80歳以上：34.9%であった。フレイルの存在は転倒、日常生活動作(ADL)障害、大腿骨頸部骨折、死亡に関して相対リスクを高めることがわかっている。予防・治療はサルコペニアと同様で、運動と栄養が大切である。

それぞれの概念としての範囲の広さから見ると、フレイルが最も広く、身体的・社会的・精神的フレイルのうちの身体的フレイルの一部にロコモティブシンドロームが含まれ、ロコモティブシンドロームの一部として運動器不安定症がある。また、ロコモティブシンドロームの原因となる運動器疾患を構成する骨、関節、筋肉疾患のうち筋肉に関連した疾患がサルコペニアである。

加齢とともに身体的にも、社会的にも、精神・心理的にも活動性が低下し、その結果としてそれぞれ①老年症候群、ロコモティブシンドローム、慢性疾患罹患といった身体的フレイル、②閉じこもり、独居、老老介護などによる社会的フレイル、③抑うつ、認知障害などから精神・心理的フレイルを生じ、それぞれのフレイルが重なり合い負のスパイラルを形成していく。

このように様々な要素のかかわりがあるが、要介護状態になる原因と予防・治療を考えるとロコモティブシンドロームの予防・改善がもっとも有効な方法であることが判る。介護が必要となった主な原因を見ると、要支援になる疾患のうち37.7%、要介護になる疾患のうち19.9%、両者あわせた介護の原因の25.0%が運動器疾患であり、脳疾患：18.5%、認知症：15.8%をおさえて第1の原因である。また、ロコモティブシンドロームの診断法と臨床判断値が確立され、ロコモ度テストによる判断値は要介護

サービスを受給することの予測因子として妥当であることが医学的に評価されている。また、予防や進行防止の方策も安価にできることが多く、費用対効果の高い要介護防止策であることから、整形外科だけでなく、横断的な各科における理解と対策が必要である。



(原田敦：虚弱(フレイル)とロコモ 図2 フレイルとロコモの関係
：中村耕三・田中栄，日本医師会雑誌特別号ロコモティブシンドロームのすべて，第144巻，2015年；p.294より引用，一部改変)

就 任 挨 拶

宮崎大学医学部教授就任挨拶

感覚運動医学講座皮膚科学分野教授 ^{あま}天 ^の野 ^{まさ}正 ^{ひろ}宏

2015年5月1日付で宮崎大学医学部感覚運動医学講座、皮膚科学分野の教授を拝命いたしました天野正宏です。1977年から2000年まで初代井上勝平教授、2000年から2014年まで第2代瀬戸山充教授のあと、私が3代目になります。どうぞよろしくお願いいたします。

私は鹿児島県志布志の出身ですが、鹿児島市よりも宮崎市が地理的に近く、宮崎医大に入学、昭和61年、第7期生として卒業しました。宮崎医大皮膚科に入局した理由は、熱傷や皮膚癌など形成外科の手術に興味があったからです。2年間の研修後、医員、県立宮崎病院皮膚科を経て宮崎医大皮膚科助手、1996年から県立延岡病院皮膚科医長として4年間地域医療に携わりました。2000年4月から大学に戻り2009年講師、2011年准教授、現在に至っております。また宮崎医大麻酔科研修(1年)、北里大学形成外科研修(1年)、米国マイアミ大学皮膚科留学(1年)を経験しています。様々な地域で皮膚科以外のことも経験できたことが、今でも大きな財産になっています。

大学病院は、宮崎県の“最後の砦”としての性格を持っています。皮膚科も例外ではなく全県から熱傷、皮膚癌、重症薬疹など重症患者さんが紹介されてきます。可能な限り最先端の医療を駆使し、治療することが大学病院の使命と考えます。1977年の開講以来、宮崎県では初代、井上教授が築かれた一般開業医、県立病院など基幹病院と大学病院との連携がうまく機能しています。これは地域医療を担う上で重要であり、今後もこの病診連携を継続、発展していきたい

と思います。

また研究分野では、臨床の身近なところに見つけた疑問を、研究課題とすることが大切だと考えます。私が鹿児島、宮崎に多い成人T細胞白血病/リンパ腫(ATLL)を研究する契機となったのは、2代目瀬戸山教授の勧めからです。ATLLは発病すると約半数に皮膚浸潤が生じるため、皮膚科医がまず診断する機会が多いこと、また皮膚浸潤をとまなうATLLは予後不良因子のひとつであり、皮膚浸潤組織から遺伝子変異を特定することで、将来、抗体療法に結びつく可能性があります。大学の基礎の先生方と連携しながら、皮膚科からそして宮崎から世界へ発信したいと考えています。

教育面では、宮大の卒業生が3割しか残らない現状を踏まえ、卒業生が残りたと思う母校にしていきたいと思います。宮大では2012年から救命救急センターが開設し、総合診療を含めたプライマリーケアも学生の人気科目のひとつです。宮大では地域医療講座も開講し、また視診、触診などの診察手技はプライマリーケアの基本であり、皮膚科はこれら診断能力を磨くことのできる科だと思います。母校に残る卒業生を増加させると同時に、その中で皮膚科研修医を増やししながら、再来年度には新専門医制度が導入されますが、宮崎で活躍する皮膚科専門医を育成したいと考えています。

最後になりますが、ご挨拶の機会をいただいた宮崎県医師会の諸先生方に深謝いたします。私の任期は残り9年6か月ですが、皮膚科医として地域医療に貢献しながら、先にかかげた目標を達成するためには、医師会の先生方のご協力なくしては成り立ちません。なにとぞご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

エコー・リレー

(484回)

(南から北へ北から南へ)

胃腸エコーのお誘い

宮崎市 南部病院 ^み三 ^{はら}原 ^{けん}謙 ^{ろう}郎

約30年間勤務した県立宮崎病院を平成22年末に退職、そのまま南部病院へ就職して間もなく教授のご推薦により宮崎大学特任教授を拝命、今日に至っています。南部病院に常勤のまま毎週1回程度、大学病院で医師や技師、学生へエコー指導中です。なかでも胃腸エコーを勉強すると、重症の腹痛患者さんでも余裕を持って診療できるようになることの普及啓発に努めています。以上は、1年前に執筆した宮崎県内科医会々誌の教授紹介コーナーのダイジェストです。その後とやかくに過ごしてはおりますが、古稀直前のこの1年も特に変わりのないため流用させていただきました。なお、宮崎大学の臨床教授は66名、特任教授は2名とのことです。

胃腸エコーは見慣れないガス像のため最初はとっつきにくくハードルが高いのですが、しばらく辛抱してそれを乗り越え、系統的走査法を会得すると楽になり強力な診断手順となります。例えば、虫垂炎と回盲部憩室炎の鑑別は触診等では困難ですが、エコーではむずかしくありません。

最後に、この誌面をお借りして私が世話人の宮崎県腹部超音波懇話会のご案内をさせていただきます。胃腸エコーの日本のトップリーダー、川崎医大畠二郎教授を講師としてお招きする次回(第130回)の内容が本誌の61ページに掲載されていますのでご参照ください。大学でも参加のお誘いをしているところですが、医師会の先生方のご出席もお待ちしております。どうぞよろしく願いいたします。

[次回は、西都市の床島 真紀先生にお願いします]

私の「三上」

宮崎市 宮崎大学医学部 ^こ小 ^{まつ}松 ^{ひろ}弘 ^{ゆき}幸
附属病院

唐宋八大家の一人である歐陽脩(文学者・政治家)の有名な言葉に「三上」がある。「三上」とは良い考えが生まれやすい場所のことで、「馬上」(馬に乗っているとき)、「枕上」(寝床に入っているとき)、「厠上」(便所に入っているとき)とされる。外山滋比古氏のベストセラー本である『思考の整理学』でも紹介されているので、ご存じの方も多いと思う。

私自身、以前より「自分はどんな時に良い着想を得ているのか」に関心があり、ここ数年、「自分の三上はどこか」についてなるべく気に留めるようにしていた。私が10年来取り組んでいる慢性糸球体腎炎の新規研究テーマやその後の展開、大学の医学教育・卒後臨床研修の新規企画や大きな方針決定など、どこで考えていたのか…。その結果、私の「三上」は、「入浴中」「運転中」「就寝前」で、着想を得る割合はそれぞれ7～8割、1～2割、1割以下、と圧倒的に入浴中であった。しかも、入浴中のうち、洗髪中にシャワーでシャンプーを洗い流している数分間に、これまでのほとんどの重要な着想を得ていることに気づいた。「運転中」=「馬上」,「就寝前」=「枕上」は欧陽脩の言葉と同じだが、私の場合は「厠上」でなく「浴上」。座っている姿勢(便座=風呂椅子)は似ている気がする。ポイントはその姿勢+シャワーの組合せで、自分だけの「超思考状態」が作れる唯一の方法なのかもしれない。

みなさんの「三上」はどこですか？

[次回は、宮崎市の名越 康子先生にお願いします]

宮崎県感染症発生動向 ～10月～

平成27年9月28日～平成27年11月1日(第40週～44週)

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核15例：保健所別報告数を【図1】に示した。患者が12例、無症状病原体保有者が3例であった。患者は肺結核が9例、その他の結核(結核性胸膜炎1例、頸部リンパ節結核2例)が3例であった【表1】。性別は男性9例・女性6例で、年齢別報告数を【表2】に示した。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症6例：宮崎市保健所管内で1例、都城保健所管内で4例、日南保健所管内で1例報告があった。患者が1例(HUS発症例なし)、無症状病原体保有者が5例で、年齢別では0～4歳が1例、5～9歳が2例、30歳代が2例及び60歳代が1例であった。原因菌のO血清型はO103(VT1産生)が5例、O91(VT1産生)が1例であった。主な症状として、水様性下痢、血便、発熱がみられた。

4類：○重症熱性血小板減少症候群(SFTS)2例：日南及び小林保健所管内で各1例ずつ報告があった。

・30歳代で、主な症状として、発熱、筋肉痛、下痢、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板・白血球減少がみられた。ダニの刺し口は確認できず、海外渡航歴はなかった。

・60歳代で、主な症状として発熱、下痢、食欲不振、血小板減少、刺し口がみられた。海外渡航歴はなかった。

○日本紅斑熱2例：いずれも宮崎市保健所管内で報告があった。

・5～9歳で、主な症状として発熱、頭痛、発疹、腹痛がみられた。

・70歳代で、主な症状として発熱、刺し口、発疹、嘔気、息苦しさが見られた。

5類：○劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例：宮崎市保健所管内で報告があった。80歳代で主な症状として、ショック、腎不全、DICがみられた。原因菌の血清群はB群であった。

○後天性免疫不全症候群1例：宮崎市保健所管内で報告があった。30歳代男性で、AIDSであった。AIDSの指標疾患は肺結核又は肺外結核で、主な症状としてリンパ節腫脹がみられた。

○播種性クリプトコックス症1例：宮崎市保健所管内で報告があった。70歳代で、主な症状として頭痛、発熱、痙攣、項部硬直、皮疹、真菌血症がみられた。

○破傷風2例：いずれも宮崎市保健所管内で報告があった。

・80歳代で、主な症状として開口障害、嚥下障害、痙攣性呼吸困難がみられた。破傷風のワクチン接種歴は不明であった。

・80歳代で、主な症状として筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、痙攣、強直性痙攣、痙攣性呼吸困難、易興奮性がみられた。破傷風ワクチン接種歴は不明であった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数3,638人(定点あたり129.9)で、前月比150%と増加した。また、例年の137%と多い。

前月に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎と流行性耳下腺炎と流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と手足口病であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

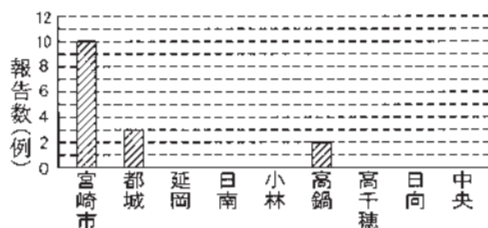


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	9
その他の結核(結核性胸膜炎等)	3
無症状病原体保有者	3

表2 結核 年齢別報告数(例)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
4	1	1	2	5	2

前月との比較

	2015年10月		2015年9月		前月との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	5	0.1	3	0.1	
RSウイルス感染症	289	8.0	368	10.2	
咽頭結膜熱	99	2.8	70	1.9	
※溶レン菌咽頭炎	335	9.3	213	5.9	★
感染性胃腸炎	2,016	56.0	927	25.8	★
水痘	92	2.6	77	2.1	
手足口病	131	3.6	528	14.7	
伝染性紅斑	78	2.2	59	1.6	★
突発性発疹	183	5.1	168	4.7	
百日咳	0	0.0	0	0.0	
ヘルパンギーナ	23	0.6	112	3.1	
流行性耳下腺炎	177	4.9	86	2.4	★
急性出血性結膜炎	1	0.2	0	0.0	
流行性角結膜炎	196	32.7	79	13.2	★
細菌性髄膜炎	0	0.0	1	0.1	
無菌性髄膜炎	1	0.1	2	0.3	
マイコプラズマ肺炎	11	1.6	3	0.4	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.1	0	0.0	

★ 例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は335人(9.3)で前月の約1.6倍、例年の約1.5倍であった。日向(23.8)、日南(16.7)、延岡(13.5)保健所からの報告が多く、年齢別では4～6歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は2,016人(56.0)で前月の約2.2倍、例年の約1.6倍であった。小林(164.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～3歳が全体の約4割を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は177人(4.9)で前月の約2.1倍、例年の約2.9倍であった。小林(28.3)保健所からの報告が多く、年齢別では4～5歳が全体の約4割を占めた。

流行性角結膜炎の報告数は196人(32.7)で前月の約2.5倍、例年の約3.2倍であった。都城(42.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1～5歳が全体の約3割、30歳代が約2割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向 (2015年10月)

□性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数：13

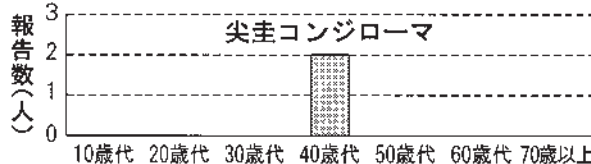
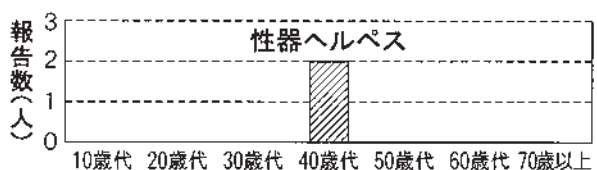
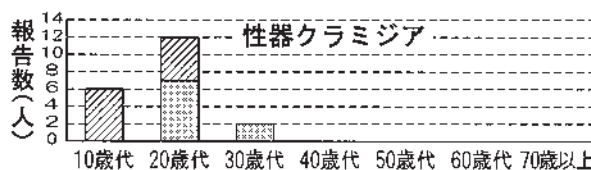
定点医療機関からの報告総数は34人(2.6)で、前月比180%と増加した。また、昨年10月(3.1)の約0.9倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数20人(1.5)で、前月の約2.2倍、昨年10月の約0.7倍であった。20歳代が全体の6割を占めた(男性9人・女性11人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数2人(0.15)で、前月の0.5倍、昨年10月と同じであった(女性2人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月及び昨年10月の2.0倍であった(男性2人)。
- 淋菌感染症：報告数10人(0.77)で、前月の2.0倍、昨年10月と同じであった。20歳代が全体の半数を占めた(男性8人・女性2人)。

■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件
ウ	アデノウイルス2型	1
	エコーウイルス16型	1
	エコーウイルス25型	1
	エンテロウイルスD68型	7
イ	コクサッキーウイルスA6型	1
	コクサッキーウイルスA9型	1
ル	単純ヘルペスウイルス1型	2
	パラインフルエンザウイルス1型	1
ス	パレコウイルス1型	1
	ライノウイルス	6
	RSウイルス	2
細菌	腸管病原性大腸菌(EPEC)(O18:HUT)	1
	腸管病原性大腸菌(EPEC)(O125:H21)	1
	腸管病原性大腸菌(EPEC)(O145:HUT)	1
	腸管病原性大腸菌(EPEC)(OUT:HNM)	1
	腸管出血性大腸菌(EHEC)(O26:HNM VT1)	1
	腸管出血性大腸菌(EHEC)(O103:H2 VT1)	6
	腸管出血性大腸菌(EHEC)(O157:H7 VT2)	1
	腸管凝集性大腸菌(EAggEC)(O111:H21)	1
	腸管凝集性大腸菌(EAggEC)(O111:HNM)	1
	腸管凝集性大腸菌(EAggEC)(O127a:HNM)	1
	<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	2
	<i>Salmonella</i> Typhimurium(O4:i:1,2)	1
	<i>Salmonella</i> Infantis(O7:r:1,5)	1
菌	<i>Salmonella</i> Corvallis(O8:z4,z23:-)	1



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は17人(2.4)で前月比90%と減少した。また昨年10月(2.1)の約1.1倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人(2.3)で、前月の約0.8倍、昨年10月の約1.1倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)であった(前月及び昨年10月報告なし)。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)



あなたできますか？

— 平成26年度 医師国家試験問題より —

(解答は46ページ)

1. 医師に関わる利益相反について正しいのはどれか。
 - a 少額の寄附金では発生しない。
 - b 罰則規定が医師法に記載されている。
 - c 関連する情報は原則として公開しない。
 - d 患者と家族の対立した利益を調整することである。
 - e 医師の私的利益と社会的役割が衝突することである。
2. 血液検査項目の組合せで、2回に分けて採血すべきなのはどれか。
 - a 血糖とHbA1c
 - b ALTとHBs抗原
 - c 白血球分画とCRP
 - d アルブミンと蛋白分画
 - e 血液型と交差適合試験(クロスマッチ)
3. パニック障害におけるパニック発作の特徴はどれか。
 - a 予期しない状況で起こる。
 - b 特定の社会的状況で起こる。
 - c 客観的に危険な状況で起こる。
 - d ストレス刺激に反応して起こる。
 - e 身近な家族から離れていると起こる。
4. 公的医療保険の給付対象となるのはどれか。
 - a 正常分娩
 - b 入院中の食事
 - c 職場の健康診断
 - d 地域住民への健康教育
 - e インフルエンザの予防接種
5. 死亡診断書について正しいのはどれか。
 - a 病院が届け出る。
 - b 剖検所見は記載しない。
 - c 署名と押印とが必要である。
 - d 主治医以外は記載できない。
 - e 死因として老衰と記載できる。
6. 癌性疼痛緩和における医療用麻薬の投与について正しいのはどれか。
 - a 静注薬から開始する。
 - b 時刻を決めて投与する。
 - c 強オピオイドから開始する。
 - d 原発巣を確定する前には開始しない。
 - e オピオイドと他の鎮痛薬との併用は避ける。
7. 副腎皮質ホルモンについて正しいのはどれか。**2つ選べ。**
 - a 日内変動がある。
 - b 血糖値には影響しない。
 - c ストレス時に変動しない。
 - d コレステロールから生成される。
 - e CRHによる直接的な調節を受ける。
8. 腎結石に対する体外衝撃波結石破砕術(ESWL)直後に起こり得る合併症はどれか。**2つ選べ。**
 - a 血 尿
 - b 骨 折
 - c 腸管損傷
 - d 皮下出血
 - e 腎機能低下
9. 新生児呼吸窮迫症候群の初期治療で適切なのはどれか。
 - a 一酸化窒素吸入
 - b 気管支拡張薬吸入
 - c 肺サーファクタント気管内注入
 - d 抗菌薬静注
 - e プロスタグランディンE₁持続静注
10. 食物摂取15分後にショックを起こした患者の原因検索に有用なのはどれか。
 - a パッチテスト
 - b 皮膚感作試験
 - c プリックテスト
 - d リンパ球刺激試験
 - e 特異的IgGの検出

メディアの目



「方言」で地域の魅力を発信

NHK 宮崎放送局 放送部長

こ
濃 あき
明おさむ
修

いま、宮崎県の方言に注目が集まっている。小林市が西諸弁を使って作ったPR動画が全国で大きな話題になり、メディアでもたびたび取り上げられている。小林市に移住してきたという設定のフランス人が地域の魅力を紹介するのだが、フランス語でしゃべっているのかと思いきや、実は西諸弁だったという意外な仕掛けが大いに受け、再生回数はこの稿の執筆時点で165万回を超える人気となっている。「方言」を地域発信につなげた成功例だろう。

また、「方言」と「体操」を結びつけて地域発信や健康増進をはかる動きも各地で盛んだ。県内でも「みやこんじょ弁ラジオ体操」や「しおみ弁ラジオ体操」などが生まれている。聞き慣れたラジオ体操のメロディーに方言がのると、その地域の温かみのようなもので伝わってくるから不思議だ。

さらに、若者の間にも新たな方言文化が生まれている。NHK 宮崎放送局では「やばたんやこっせん」という妙なタイトルの番組を2年前から放送し、この9月に第4弾を放送した。こちらは若者が使う「大人の知らない宮崎弁」の番組で「やばたんやこっせん」とは「やばくない？」という意味だ。「～たん」という流行語と「～じゃない？」

を意味する宮崎弁「こっせん」を組み合わせている。「てげてげ」や「いっちゃが」など従来の宮崎弁だけでなく、新しい宮崎弁が若者の間で次々に生まれている。賛否はあると思うが、東京など大都市の文化や言葉に憧れがちな若い世代が、自分たちの地域の言葉を見直し、流行語を巧みに取り入れて楽しみながら使っていることは注目に値する。今度、いつ放送するかは未定だが、放送の際はぜひご覧いただきたい。

再び、小林市の動画の話に戻るが、先日、夕方6時台に放送している「イブニング宮崎」で、小林市のPR動画の制作を指揮した大手広告代理店のコミュニケーションプランナー・越智一仁さんにご出演いただいた。小林市出身の越智さんは地域の魅力を発信する上で「自然や名所、食べ物など形あるものだけではなく、言葉とか人情などといった形のないものの中にも、全国に発信できる地域の魅力はたくさんある。それにどう気づき、発信していけるかが大切だ」と語っていた。非常に含蓄に富む言葉で感銘を受けた。われわれテレビメディアも、地域の中で息づいているさまざまな魅力を見つけ、発信していきたいと思う。

各郡市医師会だより

南 那 珂 医 師 会

日南市では、10年程前より糖尿病連携パスが動いている。開業医からの紹介が少ないなどの問題はあるものの、毎月1回の勉強会を行い、患者さんを中心に据えての活動はうまく回っている。このパスは県立日南病院と日南市立中部病院を基幹病院にしている。前者には、糖尿病専門医がいるが、後者にはいない。中部病院は、以前より糖尿病の患者教育に力を入れ、スタッフも充実し、患者会も組織されている。ただ、糖尿病専門医がいないばかりに開業医から中部病院に紹介されることは今のところは少ない。中部病院は研修医制度のあおりを受け医師が減り、経営が悪化したため、市は経営健全化検討委員会を平成26年に設置。その方向性を示し、27年度から29年度までの3か年を遂行期間とした。10月30日に27年度上半期の運営、収支状況が報告された。一般外来、入院の収益は依然厳しいものの、リハビリ外来、入院とも良く、リハビリを中心に据えての方針に沿ったものであった。まだ6か月のことではあるが、いいスタートはきれたと思う。11月8日に、毎年糖尿病連携パスの会が行う「歩こう会」に参加してきた。今回は、中部病院を起点とした大堂津周辺の散策であった。体力測定に始まり、海辺を歩き、途中糖尿病の質問にも答え、終点での計算尽くされた500キロカロリーのランチタイム、食後に県立日南病院椎屋先生の図表を使った飽きさせない「認知症と糖尿病」の勉強会。最後に、患者さんや子どもを入れたレクレーションと盛りだくさんの内容であった。この裏方のほとんどを中部病院の職員が行ったのである。この職員たちの熱意があれば、病院の再生は可能だなと感じた。

(島田 雅弘)

宮 崎 市 郡 医 師 会

平成24年4月1日発足の川名執行部は二期目後半にさしかかっています。平成32年に医師会病院や本会諸施設は新築移転する予定ですが、日本一の医師会病院にする気概で着々と準備を進めています。先日5社から基本・実施設計に関するプレゼンを聴き、最優秀と優秀に絞りましたが両者とも甲乙付けがたく、さらに検討を重ねているところです。今後は建築費用捻出のため諸経費削減を図る一方で会員諸先生方からのご寄付もお願いしています。問題は山積して

いますがご理解、ご協力を衷心よりお願い申し上げます。

(玉置 昇)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

昨年の労働安全衛生法の一部改正に伴い常時50人以上の従業員を使用する事業場についてはストレスチェック制度の実施が今年12月より事業主に義務化されました。都城市北諸県郡医師会は運営する健康サービスセンターでストレスチェックができるように準備をしているところです。産業医をされている会員の先生方のお役に立てればと考えております。(瀬ノ口 洋史)

延岡市医師会

弟が久留米大の医局長となり、毎週、医学生の現状を聞いて驚くことばかり。ちゃんと理解できたか、言葉遣いは、態度は…など学生さんからも評価されるそうである。あべこべじゃん！

学生の頃、心臓外科の先生といえば雲の上の存在。壁に張り付いて様子を伺っていただけだったように思う。

そんな風潮だからいばらの道に進まず、自分の生活を大事に…などと考えるようになる。今にその名を残すアルメイダ先生は、医師となったからには、その人生は患者に尽くすべきであるとおっしゃっている。なぜ先生と呼ばれ高収入なのか、なぜ世間はそれを是としているのか、胸に秘めて生きていきたい。（赤須 郁太郎）

日向市東臼杵郡医師会

恒例となっている三師会合同研修会・懇親会を11月6日（金）にベルフォート日向で開催しました。研修会では県警本部黒木典明刑事部長をお招きし講話をしていただきました。参加者は総数84名で、医師会からも20名の先生方の参加がありました。懇親会も大いに盛り上がり意義のある情報交換の場となりました。

当地域での三師会交流はこの他に毎月開催されるゴルフコンペもあり、友好な関係が保たれています。（渡邊 康久）

児湯医師会

毎月の理事会は6時半から仲良く夕食をいただき、永友会長の司会で堅実に和気藹々と進行しています。8時半には終了して街に繰り出すこともなく、静かに帰路に向かう毎月第二週の

木曜日です。10年以上も予算会計を担当させていただきましたが、収入面も限られての現状で、看護学校や福祉会計も懐に余裕や体力がなく逼迫していることに暗澹たる気分です。単年度でミクロ的に見るよりも、10年前からを総括分析しながら理事の皆様にお知恵を借りたいと思う昨今です。（黒木 宗俊）

西都市西児湯医師会

医師歯科医師会合同による第3回骨粗鬆症勉強会がありました。歯科と医科がそろって討論することでいろいろと気づかされることがあり非常にためになる勉強会でした。今後もいろいろな形で勉強会を行いたいと思います。さて、西都市では引き続き在宅医療・介護連携推進協議が行われており、多職種との連携が必要であることを深く感じます。まだ始まって間もないですが、より良いものになれば、と思います。追伸、西都児湯医療センターの今後についてシンポジウムが開かれる予定です。興味のある方は是非ご参加ください。（上山 裕史）

西諸医師会

10月29日に医師会が主催し、地域医療を考える会・小林市・えびの市・高原町の共催で地域医療講演会「地域包括ケアの構築のために」を開催した。演者は宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座の吉村学教授で、地域住民を含めた278名の出席者で会場は満席になった。吉村教授は多職種連携、医療人育成、住民参画について素晴らしい話をされ、夜遅くまで行政職員や医療従事者、住民の方に地域医療に対する熱い話を展開してくださいました。「良か話じゃひたこつ、また来っくいやいねー！」（内村 大介）

宮崎大学医学部だより

解剖学講座 —超微形態科学分野—



澤口 朗 教授

私ども解剖学講座超微形態科学分野(旧解剖学第二講座)では、肉眼解剖学教育と電子顕微鏡レベルの形態学的研究に従事しております。学長に就任された菅沼龍夫・前教授の後任として、

2010年7月に澤口朗が教授に着任して5年が経ちました。現在の教室員は講師・豊嶋(旧姓：青山)典世、助教・高橋伸育、助教・生沼勉、事務補佐員・戸高靖代の計5名に加え、医学研究者育成コースで当分野に所属する医学科2年生3名と1年生8名の計11名の学生で構成されています。

学部教育は、医学科1年次～2年次の学生を対象とした肉眼解剖学の講義・実習を中心に担当しております。現行のカリキュラムでは1年次に全ての講義を終え、2年次の4月から7月にかけて解剖学実習を実施する形式となりました。臨床医学に直結する解剖学実習では、耳鼻咽喉科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科や救命救急センターの医師による実践的な「臨床」解剖学実習の推進に注力しております。また、各実習日の剖出項目と密接に関係する臨床診断名が一班に与えられ、班員による約15分間の解説に引き続き学生同士で質疑応答を行う「解剖学実習セミナー」を新たに導入して、教育効果の向上に努めております。

地域貢献を目的とした取り組みでは、看護師や理学療法士、救急隊員をはじめとする県内のコ

メディカルスタッフ養成学校を対象とした解剖学標本示説を実施しております。昨年度からは読売巨人軍及び日本野球機構との共同事業として、プロ野球トレーナーのスキルアップをはかる解剖学標本示説研修を新たに実施し、2020年東京オリンピック開催を視野に文部科学省が推進する「コーチング・イノベーション」に、解剖学の見地から貢献を果たすプロジェクトに着手しました。

研究では、当研究室が開発したラット単離胃粘膜モデルに、生体物質と形態保持に優れた高圧凍結技法を応用し、独創的な超微形態研究を展開しております。また、ヒトiPS細胞を用いた血球産生と臨床応用で世界をリードする江藤浩之教授(京都大学iPS細胞研究所)との共同研究において、電子顕微鏡を用いた血小板の超微形態解析を担当し、その成果はCell Stem Cell, 14: 535-548, 2014やStem Cell Reports 1: 499-508, 2013に掲載されました。さらに、十島二郎准教授(東京理科大学)らとの共同研究では、免疫電顕標識解析によって出芽酵母のエンドサイトーシス経路の解明に貢献し、その成果がNature Commun, 5: 3498, 2014に掲載され、科学新聞(2014年4月11日発行)でも紹介されるなど、エキサイティングな研究成果が発信されています。

地域医療を担う医師不足が叫ばれる中、次世代の基礎医学研究と教育を担う人材不足も顕在化し、本学でも医学研究者育成コースが新設されるなどの対策が進められております。未来に夢を描く学生に、基礎医学の道を歩む魅力を伝えるべく日々尽力して参りますので、今後ともご指導とご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。(澤口 朗)

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(産 婦 人 科 医 会)

はまだ まさひろ
濱田 政雄 会長

宮崎県産婦人科医会は、宮崎県母性保護医協会として昭和23年10月に発足し、名前の通り母性に関わる会員相互の親睦と“優生保護法”の指定医の指導団体として活動していました。優性思想否定の観点から“母体保護法”と改変されたことに伴い、平成6年5月宮崎県母体保護産婦人科医会、更に平成14年2月現在の宮崎県産婦人科医会に改称されました。

現在は開業医と病院勤務医とが相互連携して周産期・婦人科腫瘍・不妊症分野の診断・治療に当たっています。多くの会員が分娩に関わっていますが、最近15年間の新規開業は無床診療所のみで、地域総枠病床数の対象から特例で外れていることを利用して、産婦人科有床診療所を新規で開業しようとする若手はいないようです。

周産期医療においては、宮崎方式と評価されている地域周産期ネットワークが機能して周産期の医療レベルはベスト5位以内を維持しています。開業医スタッフの診療レベルの維持向上に貢献する“ひむかセセミナー”開催・2次3次病院スタッフによる周産期症例検討会・行政との宮崎県周産期医療協議会の3つの会を通して、周産期医療レベルの維持向上がなされています。

しかしながら、10年後には宮崎県の産科医は16%減少するとの日本産婦人科医会の試算もあ

ります。宮崎県内の産婦人科医がいまのまま減少した場合には、今のネットワーク維持は難しいでしょう。少子化対策がこれからの日本の大きな政策の一本になっているとは言え、このままでは産科難民を作りかねません。産科医療補償制度の開始後5年が経過し、一応産婦人科の医療訴訟が減じたかに思えます。原因不明・未熟性・先天異常も含めた脳性麻痺の全ての児が対象となり、等しく母性が報われる日が待たれます。1.67の特殊出生率を1.80から2.07にまで上昇させる少子化対策の実現のためにも、安心安全な産科医療の宮崎県内での継続のために次世代の産科医の加入を望みます。

婦人科腫瘍に関しては、子宮がん死は全国一位の死亡率で、喫緊の対策が望まれます。子宮頸がんワクチン接種が頓挫している今、できる施策は子宮がん検診の普及以外にありません。産婦人科は行政に対して発がんウイルスであるHPVと細胞診の併用検診の導入をお願いしています。費用対効果からは検診率と精度向上が図れ、受診者に多くを占める発症リスクの低い高齢者の検診を除外することが可能になります。子どもが欲しいときに子宮がないなどの問題を生じる20代から30代での若年発症に対する施策に積極的に向き合うことが出来ます。発症リスクの高い世代に集中しての複数回のリコールは検診率の改善が期待できます。宮崎から少しでもワーストがなくなるようにしたいものです。

(濱田 政雄)

第37回産業保健活動推進全国会議

と き 平成27年10月15日(木)

ところ 日本医師会館

はじめに、塩崎厚生労働大臣(加藤厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生部長代読)、横倉日医会長(今村副会長代読)、武谷労働者健康福祉機構理事長、櫻井産業医学振興財団理事長よりそれぞれ挨拶があった。今年12月から施行となるストレスチェック制度について、塩崎厚生労働大臣は「制度が企業において円滑に活用され、効果を上げていくためには、産業医をはじめとする産業保健スタッフが制度の主旨を十分に理解していることが重要」とし、研修会等への参加と、制度への積極的な協力を呼び掛けた。また、横倉会長は「社会基盤である労働者の健康保持増進を通して、持続可能な社会保障制度へ貢献できるもの」と、櫻井理事長とともに、制度や制度を担う産業医への期待を示した。労働者健康福祉機構の武谷雄二理事長は「来年度は、労働安全総合衛生研究所と統合し労働者健康安全機構となり(予定)、機能的で実効性のある取組みによって、メンタルヘルス障害による離職を未然に防ぐための中心的な役割を果たしていきたい」と意気込みを述べた。

活動事例報告

午前は、活動事例報告として、益田大阪産業保健総合支援センター運営主幹より「大阪府における産業保健活動総合支援事業の取組みについて～関係機関との連携を中心とした活動事例について～」、次に、松本大宮地域産業保健センター代表、武石同センター地域運営主幹より「大宮地域産業保健センターの取組みについて」と題し、同センターを取り巻く環境と、センターの

第37回 産業保健活動推進全国会議



実績を上げるための取組みについて報告があった。どちらも県医師会をはじめとした各関係団体との連携強化がスムーズな産業保健活動や実績に結び付いていることが述べられた。

説明・報告

午後はまず武田厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課長より、最近の労働衛生行政の動向について報告があった。特に、まもなく開始となるストレスチェック制度の施行に向けた準備状況の説明では、ダウンロードして活用できる実施プログラム・マニュアルの提供や各種支援策等の案内があり、出席者の注目を集めていた。また、産業医制度の在り方に関する検討会については、産業構造の変化やストレスチェック制度導入に伴い、産業医に求められる役割も大きく変わっていることから、法令の改正も念頭に置いた検討を実施し、平成28年度末までに報告書として取りまとめる予定であることが述べられた。

次に、相澤日医産業保健委員会委員長・北里大学名誉教授より「産業医活動に対するアンケート

ト集計結果について」の報告があった。産業医活動の課題として、業務増、スタッフ不足、連携の必要性増加が挙げられており、産業医の職務の範囲や他職種との連携のあり方についての検討が必要であること、ストレスチェック制度については、事業場側の体制づくり、研修・マニュアルが必要というアンケート結果が得られており、施行に向けてさらなる周知・支援が必要であることが示された。つづけて、堀江同委員会副委員長・産業医科大学教授より「産業保健活動総合支援事業における地域産業保健センター事業に関するアンケート調査結果について」の報告があった。地域産業保健センター事業において、地区医師会の発意による企画や活動の実現、専門職による事務作業の負担の軽減、優秀なコーディネーターの確保・身分保障・育成に資源を集中させることが急務であるとまとめられた。

協 議

協議に先立ち、亀澤労働者健康福祉機構理事より、産業保健活動総合支援事業の進捗状況、前年本会議以降の主な取組みについて報告があった。特に、かねてより要望のあった「医師及び保健師等の活動に係る賠償責任保険及び傷害保険」に機構負担で加入となったこと、医師の活動謝金単価が300円引上げられたこと等について述べられた。

その後、武田厚労省労働衛生課長、道永日医常任理事、亀澤理事、岩崎産業医学振興財団事務局長の4人による事前質問への回答があった。主な質疑内容は次の通りである。

公立医療機関に勤務する産業医の活動活性化について

Q. 兼業の禁止或いは制限により産業医活動に参加できないという意見があるが、厚労省としての今後の改善策をお示し願いたい。

A. 厚労省として特段の規制等は行っていない。地方公務員法の観点からも、任命権者の許可

を受ければ兼業可能となっている。

産業医の交通費の改善・往復時間手当加算について

Q. 移動時間を含めた「拘束時間」を加算対象としてほしい。

A. 交通費については、国の基準に基づいて実費(路線バス料金で算出)を支給となっている。自家用車を使用した場合の交通費については、平成2年に増額されて以来、そのままとなっている。時代に見合った金額への見直しを検討していきたい。拘束時間の関係については、自宅から直接事業所に向かう場合は謝金の対象にはならないが、自宅から一度、地域産業保健総合支援センターに寄り事業所に向かう場合や、事業所から事業所へ向かう場合は謝金対象となる。また、活動に必要な作業(事前準備や報告書作成)時間についても謝金対象としている。いずれも、当該事業は国の補助事業であり、国に説明できるような事業の運営が求められるので、引き続きご理解の上ご協力をお願いしたい。

以下、ストレスチェック制度について

Q. 産業医の報酬について、厚労省にて目安となる金額等の設定予定はあるか。

A. 企業が産業医活動にどれ位の報酬を支払うかについては、商業的な契約となるので、行政(厚労省)で金額を示すということは困難であることをご理解いただきたい。ただ、業務量が増加すればその分報酬が増加するのは商業的契約において当然のことと理解している。日本医師会としても、産業医の報酬については企業と産業医との契約なので、目安となる金額を提示することはできない。50名以下の事業所における補助金の金額や、相澤先生のアンケート調査の結果(1～3万円増/月)等を参考にしていきたい。

Q. ストレスチェック制度の開始にあたり、産

業医の仕事量と責任だけが増加することになれば、産業医を辞める先生が増えるのではないかな。

A. ストレスチェック制度の導入に伴い、産業医の担うべき職務や責任が増大し、産業医に求められる役割は大きく変化してきている。法律上の産業医の位置づけや履行補償についても産業医制度の在り方に関する検討会にて意見をしていきたい。

Q. 産業医が労働者から訴えられるといった事案に対して、日本医師会として支援する制度はあるか。

A. 産業医の業務に関係する損害賠償責任保険については、ストレスチェック制度実施に向けて、先生方が安心して活動できるよう、加入方式や費用負担などの制度設計について検討しているところである。

Q. 安全配慮義務等で産業医が訴訟された場合などに、日本医師会の医賠償で補償されるのか。

A. 日医の医賠償は医療行為に対するものであり、産業保健活動について訴訟された場合は、それが医行為にあたるかどうかが根拠となる。そこで、産業保健活動にかかる賠償については、今年、労働者健康福祉機構が加入することになった。過去に1件だけ医賠償から支払われたケースがあったが、必ずしも医賠償で補償されるというわけではない。会員の先生が嘱託産業医もしている場合に、医賠償としても補償できるような枠組み等も検討している。

そもそも、守秘義務で企業に面談結果等が伝わらずに何か起こった場合の安全配慮義務については、本人の同意がない限り企業へ情報が伝わらないという制度設計上の仕組みなので、産業医個人の責任が問われるものではない。

Q. 多国籍な事業所では、ストレスチェック実施時にサポートについた事業所の人が回答を見ることになる場合が想定されるが問題はないか。また、守秘義務について、書面等を提出させて管理する必要はあるか。

A. サポートにあたる人をストレスチェックの実施者に含めれば問題ない。守秘義務については、書面の提出までは求めている。

Q. 嘱託産業医としてストレスチェックの実施者となる場合、ストレスチェック実施の際、その場(実施施設)にいないといけないのか。

A. 実施者がその場にいる必要はない。

Q. 実施プログラム(無料)はいつ頃、どのように提供されるのか。

A. 来週公表を目処に準備している。配布ではなく、厚労省のホームページからダウンロード(<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzenisei12/>)してもらい形式をとる。ストレスチェック制度関係Q & Aは、追加質問という形で更新している。制度開始に伴い、新たな質問が出ることが予想されるので、その場合も、最新のものを随時更新していく。

Q. 大きな企業や組織には、業者の方から話がいくようだが、中小企業にはないため、ストレスチェック実施可能な医療機関、施設のリストが欲しいという相談が多い。リストの作成・配布は可能か。

A. ストレスチェック実施業者を行政が公表することは難しい。ただ、少人数だと請け負ってもらえないという点については、実施プログラムを利用いただければ、規模に関わらず実施可能なのでお試しいただきたい。

Q. 50人以下の事業所は努力義務だが、今後の方針をお示し願いたい。また、地域産業保健センター登録の産業医は長時間労働者の面接指導等で多忙である上、ストレスチェックも

重なると、かなり負担がかかってしまう。大企業の支店等は優先順位を後順位にすることは可能か。

A. 50人未満の事業所については当面の間、努力義務としているが、企業の大小でメンタルヘルスケアの重要性が変わるものではないので、50人未満の事業所についても実施していただけるよう助成金制度等を設けて利用促進を行っているところである。今後の方針については、制度の施行状況や労働災害の発生状況をふまえ、5年後の制度見直しの際に、50人未満の事業所の位置付けについても検討する予定である。また、面接指導を実施する先

生の過重な負担とならないよう、簡易な方法で実施できる長時間労働者とストレスチェックを合わせた面接指導マニュアルを作成中である。

優先順位について、同じ50人未満の事業所であっても大企業よりも中小企業の事業所に対してサービスを提供するという考え方については特段の問題はない。

出席者一有野・岩男・山元・新地域産業保健センターコーディネーター
佐々木常任理事、畠中主事

医療事故調査制度

宮崎県医師会 相談窓口

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。

医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

宮崎県医師会 電話 0985-22-5118

【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話(0985-22-5118)で対応いたします。

時間外または日曜祝祭日等県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の医療事故調査・支援センター相談専用電話(03-3434-1110)にご連絡ください。

【その他】

可能な場合には、「予期せぬ死亡事故発生報告書」に必要事項を記載の上、宮崎県医師会に書面を郵送(書留やレターパックプラスなど)してください。

宮崎県医師会 〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101

この制度は、医療事故の再発防止により医療の安全を確保することを目的にした制度です。対象事案を報告するか否かについては、医療機関の管理者が組織として判断することになっており、ご遺族から医療事故調査・支援センターに直接報告や調査依頼をする仕組みではありません。

第2回各都市医師会長協議会

と き 平成27年9月29日(火)

ところ 県医師会館

立元常任理事の司会により開会、河野会長の挨拶の後、報告協議に入った。

報告および協議

1. 9/15(火)(日医)都道府県医師会長協議会について

都道府県医師会等から提出された協議事項について、河野会長が要点をまとめ報告を行った。

- 1) 在宅専門診療所の要件緩和について
(山口県)
- 2) 准看護師養成問題について(福岡県)
- 3) 警察活動に協力する医師の部会について
(北海道)
- 4) 医療事故調査制度…今、見直されるべき医師会のスタンス(兵庫県)
- 5) 医療事故調査支援委員会のランニングコストについて(神奈川県)
- 6) 地域医療連携推進法人について(奈良県)
- 7) 独立行政法人日本スポーツ振興センターへの医療費請求に伴う文書料について
(滋賀県)
- 8) 平成27年度地域医療介護総合確保基金について(長野県)
- 9) マイナンバーと医療等IDについて(日医)
- 10) 水銀血圧計等の回収に関するセミナーについて(日医)
- 11) 日本医師会会員情報システムの再構築について(日医)

2. 医療事故調査制度について

濱田副会長から、医療法の改正により10月1日からスタートする本制度について、9月25日に県医療事故調査支援団体連絡協議会及び県医師会医療事故調査支援委員会を設立した旨の報告が行われた。また、医療事故が発生した場合に、当該医療機関が使用する「支援

マニュアル(第1版)」の説明が行われ、全医療機関に配布することが承認された。

3. 地域医療構想について

池井常任理事から、7月31日に開催された第1回地域医療構想策定委員会の内容について、本来であれば計画策定後に二次医療圏毎に開催する調整会議を、本県では地域の実情を十分反映させるために計画段階から開催する。また、在宅医療等の整備が進まない段階で、病床を削減することには問題がある等の要望を行った旨の報告が行われた。

4. 各保険者が通知する「医療費のお知らせ」に関する件について(延岡市医師会)

延岡市医師会の佐藤副会長から、保険者から再審査請求中に患者に対して医療費通知が出されたケースがあったとの説明が行われた。

これに対して富田副会長から、制度的には致し方ない部分があるが、患者との信頼関係にも影響する案件なので、保険者に対して事実確認と申し出を行う旨の回答が行われた。

各都市医師会

川名(宮崎)・飯田(都城)会長、
佐藤(延岡)副会長、渡邊(日向)・永友(児湯)・
岩見(西都)・島田(南那珂)・高崎(西諸)、
佐藤(西臼杵)会長

県医師会

河野会長、富田・濱田副会長、立元・小牧・
荒木・池井・牛谷・金丸・佐々木(幸)・
高村常任理事、上田・峰松・川野・
佐々木(究)・岩村・米澤・糸数・内村理事

事務局

山内事務局長、竹崎次長、久永・松本・
牧野課長、小川医協事務長、
杉田医師国保事務長心得

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご存知ですか？

相談無料

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの
医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理面

労働時間管理（働き方・休み方等）等

医業経営面

組織マネジメント・経営管理面 等

まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内
月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryoku-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

宮崎県医師会親善ゴルフ大会

と き 平成27年11月3日(火・祝)

ところ ハイビスカスG・C

恒例の県医親善ゴルフ大会が、ハイビスカスゴルフクラブにおいて開催され、29名の会員の先生方が参加されました。

絶好のゴルフ日和のもと、熱戦が繰り広げられ、無事に大会を終了することができました。

今大会の競技方法は、18ホールズストロークプレイダブルペリア方式(同ネットの場合は年長者を上位)で行われ、団体戦は延岡・児湯・西都西児湯混成チームが優勝、個人戦は、年齢別にA・B・Cの3区分に分けて行い、A：木屋博昭先生(延岡) B：丹光明先生(西諸) C：石澤宗純先生(西諸)がそれぞれ優勝されました。

成績は以下の通りです。

団体戦	郡 市 名	NET合計	各 郡 市 NET 上 位 3 名					
優 勝	延岡・児湯・西都西児湯	215.8	木屋 博昭	69.4	糸井 仁	71.4	大塚 直純	75
準優勝	都 城	217.0	吉見多喜雄	71.4	長倉 穂積	72.4	瀬ノ口洋史	73.2
3 位	日向・西諸	217.8	石澤 宗純	70.4	長田 浩伸	73.4	丹 光明	74.0

個 人 戦		会 員 名		OUT	IN	GROSS	HD	NET
A	優 勝	木 屋	博 昭	38	41	79	9.6	69.4
	準優勝	吉 見	多 喜 雄	44	43	87	15.6	71.4
	3 位	前 田	讓 治	49	53	102	27.6	74.4
B	優 勝	丹	光 明	36	38	74	0	74
	準優勝	山 元	章 裕	42	41	83	8.4	74.6
	3 位	飯 田	正 幸	45	44	89	13.2	75.8
C	優 勝	石 澤	宗 純	41	39	80	9.6	70.4
	準優勝	糸 井	仁	40	41	81	9.6	71.4
	3 位	長 倉	穂 積	44	44	88	15.6	72.4
BG賞		丹	光 明	74				
NP賞		菊池勇, 丹光明, 前田讓治, 山元章裕, 渡部正一, 吉田建世, 石澤宗純, 岩村威志						



団体戦優勝**延岡・児湯・西都西児湯 混成チーム**

11月3日、秋晴れの中、宮崎県医師会親善ゴルフ大会で延岡・児湯・西都西児湯混成チームが団体優勝でき、大変喜んでおります。

延岡・児湯・西都西児湯地区からは木屋先生、糸井先生、吉田先生、井上先生、私の5名が参加しました。木屋先生、糸井先生の素晴らしいゴルフのおかげで私たちのチームは団体優勝を果たすことができました。

年をとるごとに飛距離も落ちていき、体も硬くなってきてスコアメイクに苦しんでいます。健康を維持するために戸外のスポーツが欠かせないと思います。これからもゴルフを続けていきたいと思っています。祝日にもかかわらずお手伝いいただきました職員の方々に感謝いたします。

今後ともよろしくお願いいたします。

(大塚 直純)

総合優勝**延岡市医師会 木屋 博昭**

晴天に恵まれた県医師会ゴルフコンペで、ラッキーが大部分を占める競技であるダブルペリア方式で、その幸運を一番多く勝ち取り総合優勝でき、大変嬉しく思っています。

変形性股関節症・リウマチ性多発筋痛症にて、ステロイド・鎮痛剤を服用していますが、今後は競技ゴルフから楽しいゴルフを乗用カートを友に一日でも長くゴルフを続けて行こうと思っています。

同伴競技者の稲倉先生・大塚先生・菊田先生、楽しい一日を有難うございました。また、河野会長・医師会総務課の皆様、大変お世話になりました。

日医インターネットニュースから

■医療35兆3,548億円で過去最高 — 13年度社会保障給付費 —

国立社会保障・人口問題研究所が10月23日に公表した2013年度社会保障費用統計の概況によると、「社会保障給付費」（国際労働機関（ILO）基準）の総額は前年度比1.5%増の110兆6,566億円で過去最高を更新した。このうち「医療」は2.1%増の35兆3,548億円で過去最高を更新し、全体の32.0%を占めた。一方、総額の対GDP比は0.07ポイント減の22.91%となり、1990年度以来23年ぶりに下落に転じた。

社会保障給付費のうち、介護保険給付や生活保護の介護扶助などを含む「介護対策」は4.7%増の8兆7,879億円で、全体の7.9%。総額に占める割合が最も高い「年金」は1.2%増の54兆6,085億円で、全体の49.3%。国民1人当たりの社会保障給付費は86万9,300円だった。

社会保障費用統計は、医療保険や介護保険、生活保護など社会保障制度に関する1年間の支出をILO基準による社会保障給付費と、経済協力開発機構（OECD）基準による「社会支出」の2通りで集計する。（平成27年10月27日）

■入院中の他医療機関受診めぐり議論 — 中医協総会 —

厚生労働省は10月28日の中医協総会で、入院中の患者が他医療機関を受診した際の入院料減算をめぐり、精神科病院や有床診療所など、特に診療科の少ない医療機関の入院患者が他医療機関を受診する場合の減算率を緩和する方向性について、委員に議論を求めた。診療側は減算率緩和に肯定的な姿勢を示したが、支払い側からは他医療機関を受診する患者像が見えにくいとの意見が出た。

入院中の患者が他医療機関を受診した場合は、入院料の点数から一定割合を控除することになっており、この割合は他医療機関での診療が入院料の包括部分を含むかどうかに応じて設定されている。

厚労省の調査によると、他医療機関受診の理由としては「専門外の急性疾患・慢性疾患の治療」「症状の原因精査」が多く挙げられている。精神科病院や有床診療所は多数の診療科を持っていない

ことが多く、他医療機関受診による入院料減算の頻度が有床診療所入院基本料や精神病棟入院基本料で「比較的高い傾向」にある。

●中川副会長「理由ない受診はあり得ない」

日医の中川俊男副会長は、診療科の少ない病院で専門外の疾患症状が患者に生じた場合は「すみやかに専門の医療機関で受診していただく方が丁寧な医療だと思っている」と話した。ペナルティ的な減算には「違和感」があるとし、よほど悪質なケースを除けば、入院中の患者が必要もなく他医療機関を受診することはあり得ないとの認識を示した。（平成27年11月3日）

■内科診療所の損益状況悪化、医業収益減 — 医療経済実調 —

2016年度診療報酬改定の基礎資料となる第20回医療経済実態調査結果で、一般診療所の損益状況を見ると、個人立と医療法人の診療所とともに損益率が悪化した診療科は内科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科の4科となっている。特に、内科診療所は、個人立および医療法人で医業収益がマイナス0.4%、マイナス0.5%とそれぞれ減少に転じているほか、損益率も個人立で14年度27.9%（13年度28.6%）、医療法人でも14年度7.1%（同7.6%）とともに悪化している。

さらに在宅療養支援診療所についても損益状況が悪化している。その損益率は、個人立が14年度27.6%（同28.0%）、医療法人では14年度8.0%（同8.7%）と黒字ながらも悪化している。医療法人の医業収益もマイナス0.2%となっている。

一方、在宅療養支援病院は、14年度マイナス0.8%（同マイナス0.7%）で依然として赤字ながらもほぼ横ばいとなっている。医業収益は2.1%のアップとなった。（平成27年11月13日）

■2次医療圏別の医療データ集を公表 — 日医総研 —

日医総研はこのほど、都道府県別・2次医療圏別・市区町村別の医療提供体制の現状をまとめたデータ集をワーキングペーパーとして公表した。現在、都道府県で策定が進められている地域医療構想や今後の地域包括ケアシステムの

構築に向けた基礎資料として活用されることを目的としている。

都道府県別・2次医療圏別のデータ集は、2012年から公表しているデータ集の第4版に当たる。地域の人口動態・推計、病院・診療所数や医療スタッフなどの医療の現状、介護施設・在宅ケアの現状について紹介。併せて、14年に始まった病床機能報告制度に基づく機能別病床数や、地域医療構想策定ガイドラインに基づいて推計した2025年の必要病床数などを記載している。

推計必要病床数については、都道府県別データには政府の「医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会」の第1次報告でまとめた推計を記載し、2次医療圏別データには都道府県がガイドラインに基づいて推計した数値を記載している。推計数が未公表の都道府県については随時追加予定。

さらに、各医療圏の人口当たり医療資源量の相対的な位置付けを把握するため、全国平均値を基準とした「偏差値」を用いて各医療圏の現状を紹介している。

●市区町村別データも

市区町村別データ集では、2次医療圏別データ集に掲載したデータを市区町村別で整理している。医療・介護の需要に関するデータ、医療の供給に関する病床数、施設数、医師数など、介護事業所数や介護施設定員数、介護サービス従事者の現状などを紹介している。

各地域別のデータは日医総研ホームページ(<http://www.jmari.med.or.jp/>)で閲覧することができる。(平成27年11月17日)

■自然増6,700億円分、「過不足なく必要」

ー 横倉会長 ー

横倉義武会長は11月18日、東京・本駒込の日医会館で会見し、医療への適切な財源確保に関する見解を述べた。厚生労働省が2016年度予算

概算要求で計上した医療・年金などの社会保障費の自然増6,700億円について「過不足ない医療提供に必要なものであり、医療側としてもしっかり確保できるように求めていく」と訴えた。

横倉会長は6,700億円のうち医療分(約2,900億円)を除いた介護や年金、生活保護など(約3,800億円分)については、制度改正などがないため支出額の削減が見込めないと指摘。その上で「一部報道では、財政制度等審議会・財政制度分科会が来年度の予算編成で、6,700億円を5,000億円弱まで削る提言をすると報じた。それでは16年度改定がある医療のみが削減されることになり、地域医療の崩壊を招きかねない」と問題視した。政府が6月末に閣議決定した「経済財政運営と改革の基本方針2015」(骨太の方針2015)では、「目安」として18年度までの社会保障費の伸びを年平均5,000億円程度(3年間で1.5兆円程度)とする方針が示されたが、横倉会長はこの方針はあくまで「目安だ」と重ねて強調。「財源ありきで6,700億円を5,000億円に抑えることになれば、医療現場に混乱をもたらすだけではなく、地域では医療機関の経営破綻が現実化するのではないか」と危機感を見せた。

また、医療費の伸びは高齢化による増加分以外にも、手術用特殊縫合糸など高価な製品が多くなっている医療用消耗品、MRIなど医療機器の保守管理費用増大なども一因にあると分析。「これらはいずれも技術料から包括して償還されている。これらの上昇分が医療従事者の人件費を圧迫する要因になっている」と指摘した。

●医療側から「皆保険堅持へ提言する」

一方、少子高齢社会の進展に合わせて国民皆保険を堅持するためには、医療側からの提言も必要だと説明。「国民が疾病にかからない健康づくりなどを進めることで、結果的に高齢社会での医療費の抑制につながる。医療現場からも、効率的な医療提供をするための提案を続けていきたい」と述べた。(平成27年11月20日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズルーム>日医インターネットニュース
メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID: 会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字(半角)

薬事情報センターだより (343)

希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器・希少疾病用再生医療等製品

難病、エイズ等を対象とする医薬品や医療機器は、医療上の必要性が高いにもかかわらず、患者数が少ないことにより、十分にその研究開発が進んでいない状況にありました。また、医療をめぐる国民のニーズの多様化等に対応して、安全かつ良質な医薬品・医療機器を一日も早く医療の現場に提供することが求められていました。このため、こうした国民の期待の高まりや、医薬品・医療機器の研究開発をとりまく状況の変化等を踏まえて、希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器の試験研究を促進するための特別の支援措置を講ずることとされ、平成5年に「希少疾病用医薬品」及び「希少疾病用医療機器」に対する公的な研究開発促進制度が始まりました。また、平成25年の薬事法等の一部を改正する法律により、医薬品医療機器等法上に新たに再生医療等製品が定義されたのにあわせて、「希少疾病用再生医療等製品」の制度についても創設されました。現在、医薬品医療機器等法第77条の2に基づき、対象患者数が本邦において5万人未満であること、医療上特にその必要性が高いものなどの条件に合致するものとして、薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて厚生労働大臣が指定しています。平成27年3月末日までに、希少疾病用医薬品の指定を受けたものは359品目、希少疾病用医療機器の指定を受けたものは27品目、希少疾病用再生医療等製品の指定を受けたものは2品目です。しかし、希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器・希少疾病用再生医療等製品（以下、「希少疾病用医薬品等」という）の指定は、通常開発段階で行われ、直ちに医薬品・医療機器・再生医療等製品（以下、「医薬品等」という）の製造販売承認に結びつくものではありません。

希少疾病用医薬品等の指定は、次の基準をすべて満たすことが必要です。①当該医薬品、医療機器または再生医療等製品の用途に係る対象者の数が、本邦において5万人未満であること。但し、平成27年1月1日から難病の患者に対する医療等に関する法律（以下「難病法」という）が施行されたことから、未だ治療法が確立されていない指定難病に対する医薬品等の開発支援を行うため、その用途が指定難病の場合は、難病法第5条第1項に規定する人数（人口のおおむね千分の一程度）まで対象者数の範囲とされています。②重篤な疾病を対象とするとともに、代替

えする適切な医薬品等または治療法がないことまたは既存の医薬品等と比較して著しく高い有効性または安全性が期待されることのいずれかに該当するなど、特に医療上の必要性が高いものであること。③対象疾病に対して当該医薬品等を使用する理論的根拠があるとともに、その開発に係る計画が妥当であると認められること。

支援措置としては、次のようなものがあります。①希少疾病用医薬品等の開発に係る経費の負担を軽減するため、医薬基盤研究所を通じて助成金の交付を受けることができます。②希少疾病用医薬品等に関する試験研究について、厚生労働省、医薬品医療機器総合機構及び医薬基盤研究所による指導・助言を受けることができます。なお、医薬品医療機器総合機構には、希少疾病用医薬品等を対象とした優先対面助言制度があります。また、希少疾病用医薬品に指定された場合には、通常品目に比べて治験相談の手数料が減額されます。③医薬基盤研究所からの助成金の交付対象期間に行う試験研究に係る費用のうち、希少疾病用医薬品等に係る試験研究費総額（医薬基盤研究所の助成金の交付額を除く）の12%を税額控除額として算定できます。④希少疾病用医薬品等に指定されたものについては、できるだけ早く医療の現場に提供できるよう、他の医薬品等に優先して承認審査が行われます。また、希少疾病用医薬品に指定された場合には、承認審査に係る手数料も通常品目に比べて減額されます。⑤希少疾病用医薬品等に指定され、承認された医薬品・再生医療等製品は、再審査期間が最長10年間に延長されます。また、承認された医療機器は、再審査期間が最長7年間に延長されます。

〈参考資料〉

希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器・希少疾病用再生医療等製品の指定制度の概要（厚生労働省ホームページ）

平成26年度希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器等の開発振興について（独立行政法人医薬基盤研究所）

希少疾病用医薬品等の指定に関する取扱いについて（平成27年4月1日付け薬食発0401第11号厚生労働省医薬食品局長通知）

（宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史）

お知らせ

平成27年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者23名 (女23名)	就職希望者3名 (女3名)	就職希望者6名 (女6名)
連絡先：TEL0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙1415 担当：佐土原 敦 武村 順子	連絡先：TEL0985-86-2271 宮崎市田野町甲1556-1 担当：福元 進 鬼束 咲子	連絡先：TEL0986-38-4811 都城市吉尾町77-8 担当：吉原真由美 中山さおり

お知らせ

年末・年始の休館について

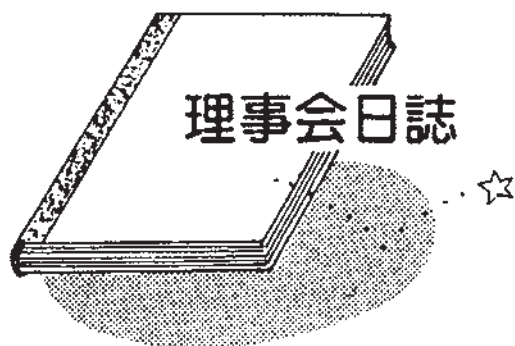
県医師会館(医師会、医師国保、医師協同組合、病院厚生年金基金)は年末・年始休業のため、下記のとおり休館いたしますのでお知らせします。

記

期 間 平成27年12月29日(火)～平成28年1月3日(日)

緊急連絡先 総務課長 090-9572-1385

事務局長 090-1514-3220



平成27年10月20日(火)第18回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 県国民健康保険診療報酬審査委員会委員の選出について

山下兼一先生の急逝に伴う後任の選出依頼で、推薦元の都城市北諸県郡医師会に入選を依頼することが承認された。

2. 11/12(土)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施に係る立会について

5 医療機関を対象に行われる個別指導で、小牧常任理事を立会人として派遣することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎大学医学部認定再生医療等委員会委員の委嘱について

→再生医療等の安全性の確保等に関する法律が施行されることに伴い、新たに宮崎大学医学部に設置される委員会で、糸数理事が委員に就任することを承認した。

4. 平成28年2/6(土)(長崎)九医連平成27年度第2回各種協議会の開催種目について

回答締切までもう少し時間があることから、来週の全理事協議会で改めて協議することが承認された。

5. マイナンバー通知カードならびに法人番号通知について

平成28年1月以降、社会保障、税、災害対策の分野で利用が開始されるマイナンバーについて、注意点等を記載した文書の確認が行われ、役員に対して情報提供を行うことが承認された。

6. 「おくすり整理そうだんバッグ」を活用した事業について

先の三師会懇談会で同意されている県薬剤師会が行う残薬確認事業について、事業を紹介する会員向け文書の確認が行われ、医療機関に対する情報提供の在り方を確認した上で、問題がなければ文書の承認と合わせ会員医療機関の住所ラベルを提供することとなった。

7. 宮崎県医師会と宮崎県獣医師会との学術協力の推進について

人と動物の共通感染症の流行制御や食品の安全性確保の目的に賛同すると共に日医及び各都道府県医師会においても連携の機運が高まっていることから、協定を締結する方向で検討を進めることが承認された。

8. 後援・共催名義等使用許可について

①11/6(土)(宮日会館)「過労死等防止対策推進シンポジウム」名義後援の依頼について
→「～自分の命を守るために、仲間の命を救うために～」テーマに、過労死等防止啓発月間中(毎年11月)に開催されるシンポジウムで、名義後援を行うことが承認された。

②平成28年1/30(土)・31(日)(都城)第12回県作業療法学会の名義後援について
→「いきる力～そこに在る生活行為を紡ぐ～」をテーマに開催される学会で、名義後援を行うことが承認された。

9. 平成28年度妊婦及び乳幼児健康診査並びに眼科及び耳鼻咽喉科に係る三歳児精密健康診査における審査事務費の見積りについて

昨年に1円上乗せし、1件当たりの審査事務費を51円として、各市町村に提案することが承認された。

10. 日本医師会・米国研究製薬工業協会(PhRMA)共催シンポジウムの開催について

「日米における災害時/緊急時の医療体制のあり方を考える」をテーマに開催されるシンポジウムで、救急医療担当役員を中心に参加を検討することが承認された。

11. 10/31(土)(宮観ホテル)女性医師支援センター事業九州ブロック会議について

本県担当として、日本医師会の笠井英夫常任理事をお招きし開催される九州ブロック会議で、当日の進行及び役割分担等の確認が行われた。

12. 「国民医療を守るための国民運動」の展開について

安全と安心を約束する持続可能な社会保障制度の確立を求める国民の声を政府に届けることを目的に行われる運動で、12月9日(木)(東京)の総決起大会への参加及び宮崎県地域医療・福祉推進協議会代表者会等を通じて積極的に運動に協力することが承認された。

(報告事項)

1. 10/14(木)(支払基金)支払基金幹事会について
2. 10/20(火)(宮大医学部)宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科外部評価(訪問調査)について
3. 10/14(木)(日医)日医地域医療対策委員会について
4. 10/15(木)(宮崎市)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について
5. 10/16(金)(県医)情報システム小委員会について
6. 10/19(月)(県医)健康教育委員会について
7. 10/20(火)(県庁)県総合防災訓練研究会について
8. 10/15(木)(県医)広報委員会について

9. 10/14(木)(宮大医学部)地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会について

10. 10/18(日)(日医)日医「2020.30」推進懇話会について

11. 10/19(月)(県医)在宅医療研修会企画小委員会について

12. 10/19(月)(県医)医療従事者向け認知症対応力向上研修(TV会議)について

13. 10/10(土)(県医)産業医研修会(実地)について

14. 10/15(木)(日医)産業保健活動推進全国会議について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 「ひまわり会」入会のご案内について

「ひまわり会」は、自見はなこ先生自身の政治活動を支えるための後援団体で、各都市医師連盟及び小児科医会等へ情報提供を行うことが承認された。

2. 11/6(金)(東京)「希望ある未来を拓く」政経セミナーについて

3. その他

東京のルポール麹町で開催される政経セミナーで、協力を行うことが承認された。

(報告事項)

1. 10/16(金)(宮観ホテル)自由民主党宮崎県第一選挙区支部総会について

2. 10/19(月)(宮観ホテル)公明党県本部政策要望懇談会について

平成27年10月27日(火)第9回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員(保険者代表)の推薦について

都城市北諸県郡医師会に人選を依頼していた件について、後任の審査委員会委員に都城

医療センター(外科)の後藤又朗先生を推薦することが承認された。

2. 平成28年秋の叙勲候補者の推薦について

郡市医師会に照会した上で、県医師会から1名を推薦することが承認された。

3. 宮崎県生活習慣病検診管理指導協議会委員の推薦について

専門的な見地から適切な指導を行うことを目的に設置された協議会で、任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、現行委員の意向を確認した上で推薦を行うことが承認された。また、協議会に設置されている現行7部会の内、生活習慣病登録・評価等部会及び循環器疾患等部会が廃止されることが報告された。

4. 設立予定の県難病支援ネットワーク(NPO法人)から河野会長への理事長就任依頼について

設立の趣旨は理解できるものの公益社団法人の長として、他団体の長を務めることは適切ではないとの判断から、理事長就任はお断りすることが承認された。

5. 平成28年2/6(土)(長崎)九医連平成27年度第2回各種協議会の開催種目について(再提出)

役員から出された意見を踏まえ「医療保険対策」、「地域医療対策」、「介護保険対策」の開催を要望することが承認された。

6. 「おくすり整理そうだんバッグ」を活用した事業について(再提出)

前回の役員会で指摘された医療機関への情報提供について、「患者の了解を得た上で、適切にフィードバックする」旨の文言が、県薬剤師会長の発出する文書に追加されたことから、県医師会として会員への通知を承認することとなった。

7. 宮崎県医師会館電力供給に係る指名競争入札の実施について

現在、九州電力と契約している電気料金に

ついて、段階的に進んでいる電力の自由化に関連して、新たに新規電力代理店と契約することで、経費節減が見込まれることから、指名競争入札を実施し契約会社を選定することが承認された。

8. 平成28年度県への要望事項について

事前に照会の結果、担当役員から8つのテーマ及び各郡市医師会から12項目の要望が提出され、今後、11月17日の県との意見交換会に向け、担当役員を中心に内容を精査していくことが承認された。

9. 第115回九州医師会連合会総会における「宣言・決議(案)」の修正案について

既に九医連常任委員会に提出された案件で、担当県の長崎県医師会から再度修正案の確認依頼があり、役員で意見等があれば事務局まで申し出ることとなった。

10. 会費減免申請について

20年以上在籍かつ満年齢80歳(県医)及び満年齢83歳(日医)に達するとして、高齢による会費減免がそれぞれ1件ずつ承認された。

11. 11/19(木)(延岡)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、立会い人に上田理事を派遣することが承認された。

12. 「国民医療を守るための国民運動」について

12月9日(水)に東京で開催される総決起大会に、河野会長、立元・池井常任理事が参加することが承認され、その他の役員で参加を希望する場合は、事務局まで申し出ることとなった。また、12月15日(火)18:00から「宮崎県地域医療・福祉推進協議会代表者会」を開催し、本運動における本県の推進協議会とすることが承認された。

13. 全国がん登録説明会の開催について

がん登録等の推進に関する法律の施行により、平成28年1月1日から開始される全国がん登録について、制度の説明会を、本会のテレビ会議システムを利用する生活習慣病検診研修会に合わせ、県と共催で開催することが承認された。

14. 11・12月の行事予定について

11月の追加行事について確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 10/23(金)(新富町文化会館)県精神保健福祉大会について
3. 10/23(金)(宮観ホテル)宮崎市郡医師会10月例会並びにしのめ医学会特別講演会について
4. 10/25(日)(東京)唐澤祥人先生旭日大綬章受章祝賀会について
5. 10/27(火)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
6. 10/23(金)(県医)医療安全対策セミナーについて
7. 10/22(木)(日医)日医医療IT委員会について
8. 10/23(金)(県医)女性医師事業打合せ会について
9. 10/26(月)(県医)広報委員会について
10. 10/24(土)(シーガイア)病院部会・医療法人部会合同研修会について
11. 10/27(火)(県庁)県地域医療構想策定委員会について
12. 地域医療介護総合確保基金の第2回内示について
13. 10/26(月)(県医)県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について
14. 10/21(水)(県医)都道府県医師会学校保健当理事連絡協議会について
15. 10/24(土)(シーガイア)学校医部会総会・医学会について

16. 10/24(土)(秋田)全国医師会勤務医部会連絡協議会について**医師協同組合理事・運営委員合同協議会
(報告事項)****1. 10/27(火)(宮観ホテル)医協理事・運営委員合同協議会について****医師連盟関係****(議決事項)****1. 11/26(木)(東京)第18回武見セミナーのご案内について**

本年の総決算と更なる飛躍を願い開催されるセミナーで、開催に協力することが承認された。

平成27年11月10日(火)第19回常任理事協議会**医師会関係****(議決事項)****1. 本会外の役員等の推薦について****①傷病審査委員会の専門委員の推薦等について**

→精神疾患等により休職している県職員を円滑に復帰させると共に、公務能率の維持等を図るために設置される委員会で、県の意向もあり、県教育委員会の「教職員疾病審査委員会」の委員を中心に就任を打診することが承認された。

②宮崎県蚊媒介感染症対策会議委員の推薦について

→蚊媒介感染症に関する特定感染症予防指針の規定により新たに設置される対策会議で、公衆衛生担当の高村常任理事及び峰松理事を委員として推薦することが承認された。

③宮崎県がん対策審議会委員の推薦について
→がん登録等の推進に関する法律の施行に伴い新たに設置される審議会、河野会長

を委員として推薦することが承認された。
なお、審議会設置に伴い「県がん対策推進協議会」は廃止されることとなった。

2. 後援・共催名義等使用許可について

①「ケアする人のためのスキルアップ講座2015」
名義後援のお願い

→11/21(土), 12/19(土), 平成28年2/14(日),
3/5(土)の4回に渡り宮崎市で開催される
スキルアップ講座で、名義後援を行うこと
が承認された。

3. 平成28年1/4(月)(宮観ホテル)2016年寿 新年賀詞交歓会のお知らせ

毎年開催されている新年の賀詞交歓会で、
河野会長及び立元常任理事の出席が承認さ
れた。

4. 平成28年2/19(金)(日医)医療政策シンポジウム開催案内および参加者派遣依頼について

「社会保障と市場の原理」をテーマに開催さ
れるシンポジウムで、テレビ会議システムに
よる映像受信を行うと共に参加希望の役員は
事務局に申し出ることとなった。

5. 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会について

当日のスケジュール及び資料等の最終確認
が行われ、河野会長より改めて円滑な進行と
実のある意見交換となるために再度検討を行
うよう指示があった。

6. 郡市医師会からの忘年会のご案内について

3つの郡市医師会から忘年会出席の依頼が
あり、日頃の御礼も兼ね、可能な限り河野会
長及び複数名参加するよう調整を行うことが
承認された。

7. 11/26(木)(ひまわり荘)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施に係る立会について

4医療機関を対象に行われる個別指導で、
上田理事を立会人として派遣することが承認

された。

8. 12/3(木)(日医)都道府県医師会生涯教育担当理事・日医かかりつけ医機能研修制度担当理事合同連絡協議会の開催について

日医生涯教育制度実施要綱の見直しに伴う
研修管理システムと日医かかりつけ医機能研
修制度の運営に関する説明のために開催され
る担当理事連絡協議会で、関係役員で協議の
上、参加することが承認された。

9. 12/4(金)(北海道)平成27年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第2回)の開催について

「人材育成の観点からMC体制の充実と強化
を図る」をテーマに開催される連絡会で、参
加を希望する役員は事務局まで申し出ること
が承認された。

10. 平成28年1/24(日)(宮大)平成27年度宮崎県災害医療コーディネーター研修の開催について

各医療圏における災害医療体制の構築に向
け、関係機関との連携を図ることを目的に開
催される研修で、富田副会長及び立元常任理
事の参加と、各郡市医師会に案内することが
承認された。

11. 12/14(月)(県医)平成27年度感染症危機管理・予防接種実務担当者研修会について

県内の医療関係者及び学校、市町村、保健
所等の予防接種・感染症実務担当者を対象に
行われる研修会で、会場及びテレビ会議シス
テムの利用等を含め、共催として協力するこ
とが承認された。

12. その他

①産業医の選任の改善(法人の代表者が当該
法人の産業医を兼任している場合等)につ
いて

②宮崎大学医学部同窓会の協力依頼(若年層
の会員連携)について

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 10月末日現在の会員数について
3. 11/2(月)(宮観ホテル)宮崎銀行との懇談会について
4. 11/10(火)(県庁)県医療審議会について
5. 11/9(月)(県庁)HTLV-1母子感染対策協議会について
6. 10/22(木)財政援助団体等への監査結果について
7. 10/30(金)(大阪)水銀血圧計等回収セミナーについて
8. 11/1(日)(日医)日医設立記念医学大会について
9. 11/3(火)(ハイビスカスG.C.)県医親善ゴルフ大会について
10. 11/7(土)(県医)ICLS指導者養成ワークショップについて
11. 11/8(日)(県医)ACLS研修会について
12. 10/31(土)(宮観ホテル)女性医師支援センター事業九州ブロック会議について
13. 11/5(木)(県医)女性医師支援講座について
14. 11/10(火)(県医)治験審査委員会について
15. 地域医療介護総合確保基金について
16. 病床機能等分化・連携促進基盤整備事業について
17. 11/6(金)(福岡)九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会実行委員会について
18. 10/28(木)(県医)県産業保健連絡協議会等について
19. 10/29(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 平成28年1/9(土)(宮観ホテル)県医師連盟執行委員会の開催について
来夏夏の参議院議員選挙への対応を協議するため、三師会合同新春懇談会の開会前に、執行委員会を開催することが承認された。
2. 平成28年1/9(土)(宮観ホテル)平成28年三師会合同新春懇談会の開催について
県薬剤師会の担当で開催される懇談会で、医師連盟役員、県医師会顧問及び役員、清山知憲県議会議員に案内することが承認された。

(報告事項)

1. 自見はなこ日医連参与来宮日程について

宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館1階の「医療情報コーナー」では、分かりやすい医療や介護の本、闘病記のほか、難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索、ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間：月～金曜日 10：00～19：00、土曜日 10：00～18：00

休館日：日曜・祝日、12月29日～1月3日、8月14～15日、特別整理期間(3日間)

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地

TEL 0985-22-5118 E-mail: tosho@miyazaki.med.or.jp

県 医 の 動 き

(11月)

1	(日医)日医設立記念医学大会(立元常任理事)		
2	宮崎銀行との懇談会(会長他)		
3	県医親善ゴルフ大会 河野しゅんじ県政報告会		
5	女性医師支援講座(荒木常任理事他) (延岡地域職業訓練センター)産業医研修会 県産婦人科医会常任理事会(濱田副会長他)	18	(東京)日医・米国研究製薬工業協会(PhRMA) 共催シンポジウム(小牧常任理事) 県・市町村・県医師会との妊婦健康診査に関する 意見交換会(濱田副会長) 女性医師支援講座(荒木常任理事) 基金事業(医師確保分)に関する全体会 (富田副会長)
6	(日向)労災診療費算定実務研修会(佐藤理事) (福岡)九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会 実行委員会(金丸常任理事) 日医社保指導者講習会復講(会長他)	19	(延岡)社会保険医療担当者(医科)の個別指導 (上田理事) 産業医研修会 (日医)日医公衆衛生委員会(吉田常任理事) 医師協同組合会計監査(富田理事長他)
7	ICLS指導者養成ワークショップ (東京)全国医師協同組合連合会通常総会 (富田理事長他) 県整形外科医会研修会(川野理事)	20	広報委員会(荒木常任理事他)
8	ACLS研修会	21	産業医研修会(TV会議)(佐々木常任理事)
9	HTLV-1母子感染対策協議会(濱田副会長他) 県内科医会会誌編集委員会(小牧常任理事)	22	医療メディエーター養成研修会基礎編 (富田理事長他)
10	県医療審議会(会長) (高鍋保健所)西都児湯二次医療圏地域医療構想 調整会議(富田副会長) 治験審査委員会(荒木常任理事他) 産業医研修会 第19回常任理事協議会(会長他)	23	医療メディエーター養成研修会基礎編 (富田理事長他)
11	自見はなこ日医連参与来県 支払基金幹事会(会長)	24	県訪問看護ステーション連絡協議会役員会 (池井常任理事) 医協理事会(富田理事長他) 第20回常任理事協議会(会長他)
12	社会保険医療担当者(医科)の個別指導 (小牧常任理事) 日医生命倫理懇談会(会長) (日医)県認知症高齢者グループホーム連絡協議 会理事会(金丸常任理事) 県感染症危機管理研修会(TV会議)(峰松理事)	25	自見はなこ日医連参与来県 不動産担保型生活資金審査委員会(立元常任理事) 県ドクターヘリ運航調整委員会(小牧常任理事) 労災診療指導委員会(川野理事) 宮崎大学医学部附属病院医師研修管理委員会 (会長)
13	(長崎)九医連常任委員会(会長) (長崎)九医連臨時委員総会(会長他) 県外科医会秋期講演会(岩村理事) 産業医研修会(延岡市医師会館)	26	自見はなこ日医連参与来県 社会保険医療担当者(医科)の個別指導(上田理事) (日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員 会(峰松理事)
14	(長崎)九医連委員・九州各県役員合同協議会 (会長他) (長崎)九州医師会総会・医学会(会長他) 世界糖尿病デー市民公開講座	27	(日医)日医医療秘書認定試験委員会(富田副会長) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (濱田副会長)
15	(長崎)九医学分科会・記念行事	28	(日医)日医家族計画・母体保護法指導者講習会 (濱田副会長) (県立日南病院)県産婦人科医会新生児蘇生法講 習会 県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修 会(池井常任理事) (福岡)九州学校検診協議会専門委員会 (高村常任理事) (福岡)九州各県学校保健担当理事者会 (高村常任理事)
16	宮大経営協議会・学長選考会議(会長) 労災診療費算定実務研修会 広報委員会(富田副会長他)	30	県医監事監査(会長他) (都城保健所)都城北諸県地域医療構想調整会議 (池井常任理事)
17	児童虐待防止啓発講演会及び研修会(濱田副会長) 医協打合せ会(立元副理事長) 第10回全理事協議会(会長他) 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換 会(会長他)		

お知らせ**県医師テニス大会(冬季)への参加のご案内**

皆様におかれましてはますますご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

さて、上記テニス大会を下記のとおり開催することとなりました。
万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成27年12月20日(日)
午前10時開始～午後2時位まで
- 2 場 所 KTC カワノテニスカレッジ
宮崎県北諸県郡三股町大字宮村2799-1
TEL: 0986-36-5115
- 3 参 加 費 医師 2,000円(昼食代含む)
医師以外 無料
- 4 問い合わせ先 はしぐち小児科 橋口 電話 0986-24-5500
都城市郡医師会病院事務 森重 電話 0986-36-8300
FAX 0986-38-1220

ご家族、従業員の参加も歓迎いたします。
準備の都合上、12月12日(出)までにお知らせください。

追悼のこたば

宮崎市郡医師会

近間 尚 先生

(昭和3年3月12日生 87歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き、
近間 尚先生のご霊前に、宮
崎市郡医師会を代表して、
謹んでお別れの言葉を申し
上げます。

一昨日、先生の突然のご
訃報に接し、会員一同、
深い悲しみに包まれており
ます。

今ここに、先生のご遺影に向かい、お別れの
言葉を申し上げることになろうとは、誠に残念、
痛恨の極みでございます。

ましてや、奥様をはじめご家族の皆様方のお
嘆きは如何ばかりかとお察し申し上げ、衷心よ
り哀悼の意を捧げる次第でございます。

先生は、昭和3年3月12日、3人兄弟のご長
男としてお生まれになり、幼少にしてその才
誉れ高く、昭和25年3月、熊本大学医学部を優秀
な成績でご卒業になられました。同年4月から
は国立都城病院で研鑽を積まれ、昭和26年6月
から日向保健所、昭和28年4月からは日向市の
和田外科病院にご勤務の後、昭和30年6月、鳥
取大学医学部内科学教室に入局され医学博士を
授与されました。その後、昭和37年7月、宮崎
市青葉町において近間医院をご開業、平成12年
7月に近間病院として施設を大きくされ、現在
の宮崎市山崎町に移転開業されました。開業以
来、50有余年の歳月をひたすら医療現場の第一
線において、昼夜の別なく診療に献身的に従事
され、地域医療の充実と地域住民の健康福祉の
向上発展にご尽力されてこられました。

先生の誠実で飾り気のない、そして温かいお
人柄は、地域の人々にも親しまれ、多くの患者
さんから信望を集めて、地域に根ざした診療活



動を展開され、我々医師会員にとりまして、正
に範たるものでありました。

先生はご多忙なご診療の傍ら、医師会活動に
も積極的に参加され、昭和55年7月から平成22
年3月まで宮崎市郡医師会学校心臓検診判定委
員を29年間歴任、昭和42年4月から平成18年3
月まで宮崎市立榎中学校の校医を39年間務めら
れるなど、児童生徒の良好な発育、健康保持増
進に努力されてこられました。これら学校保健
に尽くされたご功績により、昭和62年2月に宮
崎市学校保健功労者表彰、平成3年10月に宮崎
県教育長表彰を受けられております。

また、40歳以上の健康診査にも実施当初から
ご尽力され、疾病の早期発見のため率先して健
診に従事し、地域住民の健康保持・増進に努め
られておられました。平成21年10月にはその公
衆衛生・保健に対するご功績が認められ、公衆
衛生事業功労として宮崎県知事表彰、平成24年
3月には同じく公衆衛生事業功労として厚生労
働大臣表彰を受賞されておられます。

一方、診療を離れましては、サッカーを観戦
するのが大変お好きで海外まで試合を見に行か
れていたと伺っております。

ご家庭にありましては、3人のお子様がおら
れますが、三女の郁子先生は医師としてご活躍
中でありますので、先生もさぞかしご安心のこ
とと思います。

私ども会員一同は、先生のご遺志を継いで地
域医療の充実に、なお一層の努力をいたして参
りたいと存じます。

近間先生、惜別の情尽くし得ませんが、ここ
に謹んで先生のご霊前に哀悼の意を捧げ、地域
医療に対する永年のご功績に心から感謝と敬意
を表し、御霊の安らかならんことをお祈り申し
上げ、お別れの言葉といたします。

平成27年10月4日

公益社団法人宮崎市郡医師会

会長 川 名 隆 司

追悼のこゝば

日向市東臼杵郡医師会

ちよたんだ いずみ 先生
千代反田 泉 先生

(昭和2年7月15日生 88歳)

弔 辞

日向市東臼杵郡医師会の大先輩であり、私ども医師会の重鎮として、常に尊敬し、お慕いしておりました、故千代反田泉先生の告別式に当たり、日向市東臼杵郡医師会を代表いたしまして、謹んでそのご霊前に、心からの哀悼の意を申し述べさせていただきます。



先生は、3年ほど前から療養生活を送られておられましたが、10月29日午後7時15分、満88歳の生涯を閉じられました。いまこうして先生のご遺影の前に立ち、ご尊顔を拝しておりますと、この30年余の間の数々の思い出がよみがえり、先生を失った悲しみがあらためて胸に迫って参ります。

先生は、昭和25年熊本大学医学部をご卒業されると同時に熊本大学附属病院でインターンの後、第二外科教室に入局されました。その後、宮崎県済生会日向病院に勤務され、昭和35年7月5日に現在の千代田病院の母体となります千代田外科医院を原町にご開業なさいました。

開業後間もなく、多忙な診療の傍ら、昭和37年から22年間理事、昭和59年から8年間副会長を、平成4年から10年間会長として、通算して40年という長きにわたり当医師会の役職を担われ、私たち会員のために積極的にご尽力賜りま

した。特に当地域の救急医療体制の充実発展に寄与されたことは、誰もが認めるところです。また、先生の偉業は医療界に止まらず、福祉事業、学術文化、国際交流事業と多岐にわたっており、先生の地域医療、特に救急医療への取り組みと貢献、文化事業への貢献等、こうした数々の業績や労苦に対して、平成4年に救急医療功労による厚生労働大臣表彰、平成8年に学術文化等の功績として文部大臣表彰、平成12年に国際連合思想の普及と推進による功績として、国際連合協会表彰、同年には、勲五等双光旭日章を受章されました。

先生がこうして救急医療一筋に生き、捧げてこられたご生涯は誠に素晴らしく、その数々の業績は燦然と光輝いております。今、こうして先生のお残しくださった、輝かしいご功績の数々を想起いたしますとき、その折々の先生の在りし日のお元気で温かなお姿が偲ばれ、感無量なるものがあります。生者必滅、会者定離と申しますが、先生には88歳のご生涯を全うされ、今や幽明境を異にして再び先生のお姿に接することはできません。惜別の情絶ち難いものがありますが、今ここに在りし日の先生の面影を偲びつつ、哀悼の誠を捧げ、安らかなるご冥福をお祈り申し上げまして、お別れの言葉といたします。

泉先生、どうぞ安らかに眠り下さい。

平成27年11月2日

日向市東臼杵郡医師会

会長 渡 邊 康 久

ニューメンバー

新入会員と新規開業会員をご紹介します。

延岡市
こもぶち耳鼻咽喉科

こもぶち耳鼻咽喉科
菰 渕 勇 人



住 所 延岡市

専門科目 耳鼻咽喉科

略 歴

平成6年 宮崎西高校卒業
平成12年 愛媛大学医学部卒業
同 年 愛媛大学医学部附属病院
平成14年 興生総合病院
平成16年 愛媛大学医学部附属病院
平成20年 愛媛大学大学院
医学系研究科博士課程卒業
同 年 愛媛県立中央病院
平成25年 高松赤十字病院
平成27年 こもぶち耳鼻咽喉科開業

自己紹介 高校卒業まで宮崎県で過ごし、県外の大学に進学後、約15年間四国を中心に耳鼻科医として過ごして参りました。愛媛県では、愛媛大学医学部附属病院、愛媛県立中央病院、香川県では、高松赤十字病院での勤務を経て、このたび平成27年10月に地元延岡市で、こもぶち耳鼻咽喉科を開業いたしました。

これまでお世話になった、たくさんの方々に感謝しつつ、今後はこれまでの経験を活かし、微力ながら地域医療の向上発展に尽くす所存でございます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

宮崎市
むろい皮ふ科・アレルギー科

むろい皮ふ科・アレルギー科
室 井 栄 治



住 所 宮崎市

専門科目 皮膚科

家族構成 妻、長女(小3)、
長男(小1)

略 歴

平成6年 長崎県立長崎南高等学校卒業
平成12年 長崎大学医学部医学科卒業
同 年 長崎大学皮膚科入局
平成22年 宮崎大学皮膚科入局
平成27年 むろい皮ふ科・アレルギー科開業

自己紹介 平成27年10月8日、宮崎市大字小松に開院いたしました。一般皮膚科、皮膚アレルギーの診療を行っています。これまでの経験を活かして地域の皆様の役に立つクリニックを目指して、医療に従事しています。今後ともよろしくお願い申し上げます。

趣 味 読書、ドライブ

『保険管理表』 作成サービスのご案内

〈ご希望される方向けの無料サービスです〉

宮崎県医師協同組合では、ご契約されている保険(含む共済など)の一元管理ができますよう、組合員の先生方の保険管理表を無料で作成いたします。

今まで、まとめることが出来なかった たくさんの保険証券を(株)リスクマネジメント・ラボラトリー社が管理表として一覧にまとめ、ご加入内容についてアドバイスをさせていただくサービスです。

メリット① ご家族のどなたが見ても簡単に保障内容の把握が可能！

管理表を作成することで、ご家族や医療法人で加入している様々な保険を、「一覧表」と「図表」によってダブルで確認できるので、どんな保険に加入しているのか、それぞれの保険はどんな内容になっているのか、簡単に把握できます。

メリット② 保障内容を整理することで、保障の重複などが確認出来ます！

漠然としていた保障内容が明確になることで、保障内容の重複やニーズに合わない保険の存在が確認でき、場合によっては、それらを整理することで保険料削減等にも繋がります。

メリット③ 万が一の際、保険金の請求漏れがなくなります！

個人契約・法人契約・ご家族などが一目瞭然となり、万が一の際にどこの保険会社に請求すればよいかが明確になります。また、保険会社への請求漏れ防止に役立ちます。

分かりにくい保険証券を理解し分析するためには専門知識が必要となりますので、宮崎県医師協同組合と業務提携をしています「(株)リスクマネジメント・ラボラトリー社」の協力を得て管理表の作成サービスを無料で行うことにしました。

なお、管理表作成サービスについては、個人情報保護の観点から細心の注意を払い、委託先に厳正なる守秘義務を課しております。

「保険管理表」申込書

ご住所			
医療機関名		法人名	
ご担当者氏名		ご連絡先	

お申し込みは
FAX (0985) 23 - 9179

宮崎県医師協同組合 担当:大野・岩村
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
TEL (0985) 23-9100 FAX (0985) 23-9179

《保険管理表作成サービス担当委託先》
(株)リスクマネジメント・ラボラトリー
担当:南・甲斐・長尾・花田
TEL (0985) 31-5655 FAX (0985) 65-5657

全国医師協同組合連合会/全国医師休診共済会
団体所得補償保険のご案内

突然の病気やケガで先生が 倒れてしまったら…?

万一休診せざるを得なくなったら、
こんなことが心配ではないですか？



私を頼ってくれる
大切な患者さんに
迷惑をかけてしまう…

従業員にも
負担をかけてしまう…

先生にお世話になっている
皆さまにご負担やご迷惑を
かけてしまいます。

家族に不安な思いを
させてしまう…

でも
大丈夫！

団体所得補償保険では先生のご不安を解決します!!

「団体所得補償保険」は、万一先生が病気やケガで就業不能となった場合に備えた保険です。医療保険などでは補償されない医師の指示による自宅療養期間についても収入減を補償します。

こんな出費を
補います！

●月々の生活費



●就業不能時の
従業員給与



●クリニックの
ローンや
リース料など
の必要経費



●代診医
雇い入れ
費用



■40歳 ■入院初期費用特約(5万円)/精神障害拡張補償特約/天災危険補償特約 セット ■保険期間 1年 ■対象期間 1年 ■支払対象外期間 4日 ■職種級別1級

保険金額月額

50万円

保険料月額 (団体割引 30%)

8,815円

本
制
度
の
特
長

◆病気やケガによる就業不能時の収入減を補償

- 病気やケガによる入院時はもちろん、医師の指示による自宅療養による就業不能時も補償します。
- 業務中・業務外、国内・国外の別を問いません。

◆手続きカンタン 健康状態に関する告知のみでご加入OK

※告知された内容によっては、ご加入いただけない場合や条件付きでのご加入となる場合があります。

◆法人でもご加入できます！

(税務処理一例) <個人でご加入の場合> 介護医療保険料控除の対象となります。(所得税: 最高4万円控除)
<法人でご加入の場合> 契約者=法人、被保険者=役員、保険金受取人=法人
の場合過大な報酬でなければ損金算入可能です。

※実際の税務処理は税理士にお問い合わせください。なお今後法改正により変更になる可能性があります。(平成26年6月現在)

◆団体割引30%適用

団体割引30%が適用され、個人でご加入されるよりお得です！

◆楽しい無事故戻し返れい

毎年の保険期間で、保険金のご請求がない場合は保険料の20%をお返しします。(中途脱退の場合、返れい金はありません。)

ご加入は随時受付しております。詳しい資料等の送付をご希望の場合は、取扱代理店までお問合せください。

このチラシは全国医師協同組合連合会および全国医師休診共済会の団体所得補償保険の概要を説明したものです。詳細については下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【取扱代理店】

宮崎県医師協同組合

〒880-0023 宮崎県宮崎市和知川原1-101

TEL 0985-23-9100 FAX 0985-23-9179

(受付時間: 平日午前9時から午後5時30分まで)

【引受保険会社】

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

宮崎支店 法人支社

〒880-0805 宮崎県宮崎市橘通東5-3-10

TEL 0985-27-8351 FAX 0985-26-6112

(受付時間: 平日の午前9時から午後5時まで)

損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成27年11月13日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 5人

1) 男性医師求職登録数 5人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	4	3	1
外 科	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人

2. 斡旋成立件数 51人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
平成27年度	2	0	2
平成16年度から累計	37	14	51

3. 求人登録 91件 327人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	110	82	28
外 科	28	24	4
整 形 外 科	25	22	3
精 神 科	19	17	2
循 環 器 科	8	7	1
脳 神 経 外 科	12	9	3
消 化 器 内 科	12	10	2
麻 酔 科	12	9	3
眼 科	6	5	1
放 射 線 科	10	9	1
小 児 科	1	0	1
呼 吸 器 内 科	10	9	1
リハビリテーション科	6	5	1
総合診療科・内科	7	6	1
神 経 内 科	7	6	1
救 命 救 急 科	7	7	—
健 診	3	1	2
産 婦 人 科	1	1	—
泌 尿 器 科	1	—	1
検 診	4	2	2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	4	4	—
在 宅 担 当 医	1	1	—
そ の 他	30	26	4
合 計	327	264	63

求 人 登 録 者 (公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三暗会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	10	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピア宮崎病院	宮崎市	乳外,放,内,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼,神内,眼,総診,呼外, 臨病,乳外,整外,麻酔	11	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	2	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内,内分泌内,呼,リウマチ, 神経内,健診	6	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放,在宅医療	3	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	内(緩和ケア),消内,呼内, 総診	8	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外,整	8	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮崎市	消化,麻,循,リハビリ	5	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整, 麻	7	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	内,外,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮崎市	内,整,リハビリ	7	常勤・非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	内,精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝寿会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	総内,呼吸内,消化器内, 健診	8	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,神内,外,整外,脳外, リハ,麻酔,救急,緩和ケア	10	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮崎市	美外,形成外,外,麻酔	8	常勤・非常勤
230161	医)建心会 滝口内科医院	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230165	野崎病院健診センター	宮崎市	健診	1	非常勤
230171	医)いなほ会日高医院	宮崎市	内	1	非常勤
230174	医)常聖会 巴外科内科	宮崎市	内	1	非常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮崎市	内,小,整	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤・非常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都城市	泌	1	非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内,救急,放射,脳外,外, 眼,透内,皮膚	8	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	内,呼内,総合診療	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼	6	常勤
210114	藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	外,内,整	7	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都城市	不問	1	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
230137	医) 宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医) 魁成会 宮永病院	都 城 市	内, リハビリ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	内	1	非常勤
230157	医) 一誠会 都城新生病院	都 城 市	精, 内	4	常勤・非常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内, 透, 循内, 救急, 放射, 病理, 呼吸内, 精	16	常勤
230172	医) 静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	4	常勤・非常勤
230176	一社) 藤元メディカルシステムグリーンホーム	三 股 町	内	1	常勤
160012	医) 伸和会 共立病院	延 岡 市	外, 整, 放, 内	6	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医) 健寿会 黒木病院	延 岡 市	外, 内, 緩ケア	6	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延 岡 市	産婦, 内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内, 消外, 内	5	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内, 小	2	非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延 岡 市	内	1	常勤
230156	医) 中心会 野村病院	延 岡 市	内, 外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内	1	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日 向 市	外, 内, 整, 神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内, 整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内	1	常勤
230160	日向市立東郷病院	日 向 市	内, 整	2	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内, 放, 外	3	常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整, 内, 総合診療, 麻, 眼, 健診, 循, 脳	10	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内, 外	2	常勤
150002	医) 慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医) 同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	2	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串 間 市	精, 内(いずれか)	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内, 外, 整, リハビリ, 在宅診療	5	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	内, 外	2	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日 南 市	内	2	常勤・非常勤
230166	医) 秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230168	医) 月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内, 皮膚	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急, 総合診療, 放	5	常勤
180076	医) 友愛会 園田病院	小 林 市	外, 循内, 整, 脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医) 浩然会 内村病院	小 林 市	精, 内	3	常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整, 内	4	常勤・非常勤
230155	医) 三和会 池田病院	小 林 市	脳外, 内, 放射, 外, リハビリ	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小 林 市	内	2	常勤
230173	医) 高千穂会 大森内科	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内, 外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内, 透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内, 整	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 27 年 11 月 13 日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ: 2022.17㎡(593.57坪)	<所有者: 児湯医師会 (医)松雲会 林クリニック>
2. 譲渡又は 賃貸物件	② 宮崎市永楽町223番3 土地: 661.18㎡(200.35坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建 1 階 446.78㎡ } 2 階 440.41㎡ } 971.13㎡(294.28坪) 3 階 83.94㎡ } ※別途駐車場有り(16台)	<所有者: 宮崎市郡医師会員> <(医)社団篤信会 西村産婦人科跡>
3. 経営譲渡	③ 小林市南西方49番地 1 土地: 1,991.34㎡(603.43坪) 建物: 鉄筋コンクリート造陸屋根 2 階建 1 階 471.41㎡ } 2 階 638.35㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪) ※駐車場有り(30台)	<所有者: 西諸医師会員> <(医)社団 産婦人科 生駒クリニック>

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の 9 時～12 時及び 13 時～17 時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyouto@miyazaki.med.or.jp

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
e	e	a	b	e	b	a, d	a, d	c	c

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成27年11月24日現在

12			月		
1	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第21回常任理事協議会			
2	水	13:00 都道府県医師会医療廃棄物担当事務連絡協議会(日医TV会議参加) 14:00 産業医研修会 19:00 都城市北諸県郡医師会忘年会 19:00 広報委員会(宮崎の医療を考える会リハーサル)	14	月	19:00 広報委員会 19:00 医師国保組合理事会 19:00 在宅医療研修会企画小委員会 19:00 西都市西児湯医師会忘年会 19:00 感染症危機管理予防接種実務担当者研修会(TV会議) 19:00 平成28年度学校健診についての打合せ会 19:00 西諸地域医療構想調整会議
3	木	15:00 (日医)都道府県医師会生涯教育担当理事・日医かかりつけ医機能研修制度担当理事合同連絡協議会 19:00 自殺対策うつ病研修会(TV会議) 19:00 広報委員会 19:00 産業医研修会	15	火	18:00 県地域医療・福祉推進協議会代表者会 19:00 第23回常任理事協議会
4	金	16:00 地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議 19:00 高次脳機能障がい講演会(TV会議)	16	水	13:30 DV被害者保護支援ネットワーク会議 15:00 (日医)日医地域医療対策委員会
5	土	10:00 全国学校保健・学校医大会 14:30 マイナンバー制度説明会(TV会議)	17	木	13:30 社会保険医療担当者(医科)の個別指導 14:00 産業医研修会
6	日	10:00 全国有床診療所連絡協議会役員会 16:00 参議院議員松下新平国政報告会	18	金	14:00 (日医)日医大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会 19:00 産業医研修会
7	月	13:30 全国国保組合協会理事長・役員研修会 19:00 生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)(TV会議) 19:00 医学賞選考委員会	19	土	9:00 指導医のための教育ワークショップ 15:00 生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)(TV会議)
8	火	19:00 第22回常任理事協議会	20	日	8:00 指導医のための教育ワークショップ 13:00 健康経営シンポジウム
9	水	14:00 国民医療を守るための総決起大会 14:00 県立校長会長との性教育推進に関する意見交換会	21	月	14:30 (日医)日医医療秘書認定試験委員会 19:00 医師会立看護学校担当理事連絡協議会
10	木	13:30 (日医)都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会 13:30 医師国保組合会計実地検査 19:00 生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)(TV会議) 19:00 広報委員会(宮崎の医療を考える会) 19:00 延岡市医師会員忘年会	22	火	15:00 労災診療指導委員会 18:00 医協理事会 18:30 第11回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会 19:00 役職員懇談会
11	金	15:00 全国がん登録説明会(TV会議) 20:00 医師国保組合打合せ会	23	水	(天皇誕生日)
12	土	13:30 産業医研修会(実地) 14:15 産業医研修会 16:00 診療報酬に関する税制講演会 18:00 県産婦人科医会全理事会	24	木	15:00 (日医)日医医療IT委員会 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
13	日	8:58 宮崎銀行ゴルフコンペ 10:30 e レジフェア	25	金	
			26	土	
			27	日	
			28	月	
			29	火	(年末休業)
			30	水	(年末休業)
			31	木	(年末休業)

※都合により、変更になることがあります。

行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成27年11月24日現在

1			月		
1	金	(年始休業)	18	月	
2	土	(年始休業)	19	火	14:20 (日医)都道府県医師会長協議会
3	日	(年始休業)			16:30 (日医)日医連執行委員会
4	月	13:00 新年賀詞交歓会			17:30 (日医)都道府県医師会長協議会・ 日医連執行委員会合同新年会
5	火	18:00 治験審査委員会 19:00 第24回常任理事協議会	20	水	19:00 第26回常任理事協議会
6	水	18:30 病院部会・医療法人部会合同理事会 並びに新年会			13:15 県要保護児童対策地域協議会代表 者会議
7	木	19:00 産業医研修会(実地)			19:00 労災部会自賠委員会 19:45 損害保険医療協議会
8	金	15:00 (日医)日医勤務医委員会	22	金	14:30 (日医)日医地域医療対策 委員会
9	土	18:15 県医連臨時執行委員会 19:00 三師会合同新春懇談会	23	土	15:00 県産婦人科医会冬期総会
10	日		24	日	9:30 県災害医療コーディネー ター研修
11	月		25	月	19:00 広報委員会
12	火	19:00 第25回常任理事協議会	26	火	18:00 九州地方社会保険医療協 議会宮崎部会
13	水	16:00 支払基金幹事会			19:00 第12回全理事協議会
14	木	19:30 県産婦人科医会常任理事会			15:00 労災診療指導委員会
15	金	19:30 広報委員会	28	木	
16	土	14:00 女性医師保育支援事業全体顔合 せ会 14:30 産業医研修会(TV会議)	29	金	14:00 東京女子医科大視察
17	日		30	土	14:30 かかりつけ医認知症対応力向上研 修(TV会議)
			31	日	

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

らしています

l.or.jp

〇

3

・ご要望をお待ち
のご提案など、忌

州医事上で匿名に
されない場合はそ

取り、
ます。

き
り
と
り
せ
ん

日州医事へのご意見・ご感想をお待ち

宮崎県医師会広報委員会

E-Mail : genko @ miyazaki.mec

FAX : 0985 - 27 - 6550

TEL : 0985 - 22 - 5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想
しています。本誌に対するご感想や、読みたい記事、
憚らないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日
て紹介させていただくことがあります。掲載を希望
の旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り
裏面の原稿用紙もご利用になれ

550

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX: 0985-27-6

きりとりせん

お名前:

ご所属:

TEL:

FAX:

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位 CC がん検診
都城市北諸県郡医師会学術講演会 12月1日(火) 19:00～20:30 都城ロイヤルホテル	C型肝炎は治る時代へー高度腎障害例への対応を含めてー 都城医療センター消化器病センター長 駒田 直人	◇共催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ブリストル・マイヤーズ㈱	単位 1.5 CC 13 27 73
宮崎県医師会産業医研修会 12月2日(水) 14:00～16:00 県医師会館	生涯専門(4)メンタルヘルス対策 産業医及び職場における相談対応者のための過労死等の防止対策 産業保健相談員 中村 康文 生涯研修の専門研修会：2単位	◇共催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎産業保健総合支援センター	単位 2 CC 5 11 69 70
西臼杵郡医師会学術講演会 12月2日(水) 19:00～20:30 ホテル高千穂	当院における心不全治療の現状 宮崎県立延岡病院循環器内科部長 山本 展誉	◇共催 西臼杵郡医師会 ☎0982-73-2010 延岡市西臼杵郡薬師会 ◇後援 大塚製薬㈱	単位 1.5 CC 24 43 45

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位 CC がん検診
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 12月2日(木) 19:00~20:15 ホテルペルフォート日向	循環器疾患における糖尿病治療薬の使い方のポイント 佐賀大学医学部循環器内科教授 野出 孝一	◇共催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 日向市東臼杵郡内科医会 第一三共(株) 田辺三菱製薬(株)	単位 1 CC 76 82
平成27年度宮崎県医師会自殺対策うつ病研修会 12月3日(木) 19:00~21:30 県医師会館	自殺予防—身体科の医療現場で出来ること 宮崎大学医学部精神科教授 石田 康 勤労者のメンタルヘルス不調・うつ病への対応 札幌医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学医学部神経精神医学講座主任教授 河西 千秋 <u>産業医研修会, 生涯研修の専門研修会</u> <u>(4)メンタルヘルス対策 2単位</u>	◇共催 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県	単位 2 CC 13 68 69 70
宮崎県医師会産業医研修会 12月3日(木) 19:00~21:00 都城市北諸県郡医師会館	生涯更新(1)労働衛生関係法規と関係通達の改正 この頃の産業保健の動向—通達と報道発表資料から— 西部労働衛生コンサルタント事務所代表 矢崎 武 生涯研修の更新研修会: 2単位	◇共催 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎産業保健総合支援センター	単位 2 CC 3 7 8 9
第198回宮崎県泌尿器科医会 12月3日(木) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル	夜間頻尿の治療戦略 札幌医科大学医学部泌尿器科学講座教授 舩森 直哉	◇共催 宮崎県泌尿器科医会 武田薬品工業(株) (連絡先) 宮崎大学医学部泌尿器科 ☎0985-85-2968	単位 1.5 CC 65 66 67

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位 CC がん検診
高次脳機能障がい 講演会 12月4日(金) 19:00～21:00 県医師会館 TV会議：都城・ 延岡・日向・西都・ 南那珂・西諸・ 児湯	高次脳機能障害－こころと脳のつながり－ 熊本大学大学院生命科学研究部 神経精神医学分野神経精神科准教授 橋本 衛	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118	単位 2 CC 5 9 29 78
第21回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患 セミナー 12月5日(土) 15:45～19:00 宮崎観光ホテル	講演1：これからの運動器診療科の役割 －がん診療科としての整形外科－ 帝京大学医学部整形外科学講座主任教授 河野 博隆 講演2：脊柱靱帯骨化症のトピックス 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 先端医療開発学講座整形外科学分野教授 大川 淳 講演3：膝関節動態解析の新展開 愛媛大学大学院医科学系研究科 医学専攻器官・形態領域整形外科学教授 三浦 裕正	◇共催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ※中外製薬(株) ☎0985-20-8118	単位 3 CC 1 2 59 61 73 81
第74回宮崎県精神 科医会懇話会 12月5日(土) 17:30～19:00 宮崎観光ホテル	福島におけるトラウマを考える：原発事故がもたらした 心理社会的影響 福島県立医科大学災害こころの医学講座教授 前田 正治	◇共催 宮崎県精神科医会 大日本住友製薬(株) (連絡先) 宮崎県精神科医会事務局 ☎0982-37-0126	単位 1.5 CC 5 6 69

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位 CC がん検診
平成27年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 12月7日(月) 19:00~21:30 県医師会館 TV会場: 都城・ 延岡・日向・児湯・ 西都・南那珂・ 西諸・西臼杵	肺癌外科治療の現状と展望 県立宮崎病院外科医長 別府 樹一郎 乳がん検診におけるMMGとUSの役割について All About Breast乳腺外科クリニック院長 町田 英一郎 胃がん検診の現状 宮崎市郡医師会成人病検診センター所長 尾上 耕治 局所進行大腸癌・転移性大腸癌の治療 潤和会記念病院副院長 岩村 威志	◇共催 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県	単位 2 CC 2 11 12 82 (胃) (大腸) (肺) (乳)
第2回宮崎肝疾患 医療連携セミナー —CKD患者のC型 肝炎治療を考える— 12月8日(火) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル	ウイルス性肝炎撲滅を目指して 鹿児島市立病院消化器内科部長 堀 剛 CKD患者におけるC型慢性肝炎の実態と肝炎治療 宮崎医療センター病院消化器・肝臓病センター長 宇都 浩文	◇共催 宮崎県透析医会 ※ブリストル・マイヤーズ㈱ ☎099-805-3325 ◇後援 宮崎県医師会 宮崎市郡医師会	単位 1.5 CC 13 27 73
平成27年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 12月10日(木) 19:00~21:30 県医師会館 TV会場: 都城・ 日向・児湯・西都・ 西諸	肺癌外科治療の現状と展望 県立宮崎病院外科医長 別府 樹一郎 乳がん検診におけるMMGとUSの役割について All About Breast乳腺外科クリニック院長 町田 英一郎 胃がん検診の現状 宮崎市郡医師会成人病検診センター所長 尾上 耕治 局所進行大腸癌・転移性大腸癌の治療 潤和会記念病院副院長 岩村 威志	◇共催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県	単位 2 CC 2 11 12 82 (胃) (大腸) (肺) (乳)

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位 CC がん検診
宮崎県医師会産業 医研修会 12月12日(土) 13:30~15:30 ひまわり荘	生涯実地(2) じん肺の胸部エックス線検査 富山労災病院アスベスト疾患センター長 水橋 啓一 石綿関連疾患胸部画像の読影実習 日本医科大学多摩永山病院 呼吸器・腫瘍内科助教 上原 隆志 生涯研修の実地研修会: 2単位	◇共催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県産業保健支援センター	単位 2 CC 1 8 9 11
宮崎県医師会産業 医研修会 12月12日(土) 14:15~17:20 宮崎市郡医師会館	基礎後期(4)メンタルヘルス対策 生涯専門(4)メンタルヘルス対策 ストレスチェック制度の概要と留意点 宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子 基礎後期(5)健康保持増進 生涯専門(5)健康保持増進 産業医が担う職域禁煙推進の重要性 宮崎県立看護大学・大学院教授 江藤 敏治 基礎研修の後期研修会: 3単位 生涯研修の専門研修会: 3単位	◇共催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎市郡医師会	単位 3 CC 1 7 8 9 11 70
第166回宮崎県眼科 医会講習会 12月12日(土) 16:00~19:05 宮崎観光ホテル	角膜感染症に対する治療戦略 ツカザキ病院 片上 千加子 糖尿病黄斑浮腫の診断と治療 京都大学大学院医学研究科眼科学准教授 鈴間 潔 参加費: 3,000円	◇共催 宮崎県眼科医会 ノバルティスファーマ(株) (連絡先) 宮崎県眼科医会事務局 ☎0985-28-1015	単位 2 CC 36

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位 CC がん検診
第71回宮崎整形外科懇話会 12月12日(土) 18:00~19:00 県医師会館	骨・関節術後感染の予防と治療 聖マリアンナ医科大学川崎市立多摩病院 整形外科教授 松下 和彦 参加費:1,000円	◇共催 宮崎整形外科懇話会 宮崎県整形外科医会 大正富山医薬品(株) (連絡先) 宮崎大学整形外科 ☎0985-85-0986	単位 1 CC 8 28
平成27年度感染症危機管理・予防接種実務担当者研修会 12月14日(月) 19:00~20:30 県医師会館 TV会場:都城・ 延岡・日向・児湯・ 西都・南那珂・ 西諸・西臼杵	麻疹・風疹 予防接種の話(仮) 宮崎県小児科医会長 三宅小児科医院長 三宅 和昭	◇共催 宮崎県医師会 宮崎県 (連絡先) 県庁健康増進課感染症対策室 ☎0985-44-2620	単位 1.5 CC 11 12 13
都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会 12月14日(月) 19:00~20:30 都城ロイヤルホテル	高血圧診療と研究の最近の話題(仮) 宮崎大学医学部内科学講座 循環体液制御学分野教授 北村 和雄	◇共催 都城市北諸県郡医師会内科医会 武田薬品工業(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711	単位 1.5 CC 74 82 84

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位 CC がん検診
宮崎市郡外科医会 12月例会 12月14日(月) 19:00~20:00 宮崎観光ホテル	皮膚癌の手術療法 ー進行期メラノーマに対する薬物療法を含めてー 宮崎大学医学部皮膚科教授 天野 正宏	◇共催 宮崎市郡外科医会 MSD(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434	単位 1 CC 9 84
宮崎市郡内科医会 学術講演会 12月15日(火) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル	保存期腎性貧血に対するESA製剤の有用性 宮崎江南病院腎疾患・透析部長 山田 和弘 <u>糖尿病とともに腎臓をみる</u> 仁医会病院長 阿部 克成	◇共催 宮崎市郡内科医会 ※協和発酵キリン(株) ☎0985-22-8801	単位 1.5 CC 73 76 84
第102回宮崎市郡 医師会病院心臓病 研究会 12月15日(火) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル	大動脈瘤に対するステントグラフト治療 横浜総合病院心臓血管外科部長 血管内治療センター副センター長 川口 聡	◇共催 宮崎市郡医師会病院心臓病研究会 富士製薬工業(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119	単位 1.5 CC 2 9 15
宮崎県医師会産業 医研修会 12月17日(木) 14:00~16:00 県医師会館	生涯専門(4)メンタルヘルス対策 職場で使える！交渉術 ー交渉術を身につけて、メンタルヘルスに活かしますー 都城新生病院医師 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	◇共催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県産業保健総合支援センター	単位 2 CC 5 11 69 70

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位 CC がん検診
日向市東臼杵郡医師会学術講演会 12月17日(木) 19:00~20:10 ホテルベルフオー ト日向	腎保護を目的とした糖尿病管理(仮) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 糖尿病・内分泌内科学教授 西尾 善彦	◇共催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡薬剤師会 協和発酵キリン㈱	単位 1 CC 73
第199回宮崎県泌尿器科医会 12月17日(木) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル	新専門医制度の概要 ー泌尿器科専門医更新を中心にー 宮崎大学医学部泌尿器科学講座教授 賀本 敏行 参加費:5,000円	◇主催 宮崎県泌尿器科医会 (連絡先) 宮崎大学医学部泌尿器科 ☎0985-85-2968	単位 1.5 CC 1 7 9
西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 12月17日(木) 19:00~21:00 ガーデンベルズ 小林	徐放性GLP-1受容体作動薬を実臨床でどう使うか 光川内科医院長 光川 知宏	◇共催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 西諸内科医会 大日本住友製薬㈱	単位 2 CC 9 22 67 82
宮崎県医師会産業医研修会 12月18日(金) 19:00~21:00 県医師会館	生涯専門(4)メンタルヘルス対策 メンタルヘルスと復職(Ⅰ) 西都病院精神科医師 植田 勇人 生涯研修の専門研修会:2単位	◇共催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県産業医総合支援センター	単位 2 CC 5 6 69 70

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位 CC がん検診
平成27年度宮崎県 医師会生活習慣病 検診従事者研修会 12月19日(土) 15:00~17:30 県医師会館 TV会場: 都城・ 延岡・日向・児湯・ 西都・西諸	肺癌外科治療の現状と展望 県立宮崎病院外科医長 別府 樹一郎 乳がん検診におけるMMGとUSの役割について All About Breast乳腺外科クリニック院長 町田 英一郎 胃がん検診の現状 宮崎市郡医師会成人病検診センター所長 尾上 耕治 局所進行大腸癌・転移性大腸癌の治療 潤和会記念病院副院長 岩村 威志	◇共催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県	単位 2 CC 2 11 12 82 (胃) (大腸) (肺) (乳)
宮崎県医師会産業 医研修会 平成28年 1月7日(木) 19:00~21:00 県医師会館	生涯実地(3)メンタルヘルス対策 メンタルヘルス不調の労働者の事例検討 宮崎県立看護大学・大学院教授 江藤 敏治 生涯研修の実地研修会: 2単位	◇共催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県産業総合支援センター	単位 2 CC 5 6 69 70
日向市東臼杵郡医 師会学術講演会 1月7日(木) 19:00~20:00 日向市東臼杵郡 医師会館	宮崎の外科医療と大学の現状、そしてこれからの取り組み 宮崎大学医学部肝胆膵外科学分野教授 肝胆膵外科長 七島 篤志	◇共催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 日向市東臼杵郡外科医会 日向市東臼杵郡内科医会	単位 1 CC 9

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位 CC がん検診
宮崎市郡医師会新年例会・しのめ 医学会特別講演会 1月15日(金) 19:00~19:45 宮崎観光ホテル	地域と大学 宮崎大学長 池ノ上 克	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434	単位 0.5 CC 13
宮崎県医師会産業 医研修会 1月16日(土) 14:30~18:30 県医師会館 TV会場:延岡・ 日向・児湯・西都・ 南那珂・西諸	基礎後期(6)作業環境管理 生涯専門(6)作業環境管理 産業医と作業環境管理ー産業医が進める職場の改善ー 産業医科大学産業衛生教授 浜口 伝博 基礎後期(2)労働衛生管理体制 生涯専門(2)労働衛生管理体制 労働衛生管理のための体制づくり 東京大学環境安全本部 大久保 靖司 基礎研修の後期研修会:4単位 生涯研修の専門研修会:4単位	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118	単位 4 CC 1 5 6 7 9 11 13 70
延岡医学会学術 講演会 1月22日(金) 19:00~20:30 ホテルメリージュ 延岡	喘息・ACOS・COPDにおける新ガイドラインの魅力と 治療薬の選択 熊本大学大学院生命科学研究部 呼吸器内科学分野教授 興梠 博次	◇共催 延岡医学会 延岡内科医会 ※杏林製薬(株) ☎0985-27-3301	単位 1 CC 46 79
第77回宮崎大学 眼科研究会 1月23日(土) 15:00~19:00 宮崎観光ホテル	診療報酬と眼科保険診療 野中眼科院長 野中 隆久 AMDとmCNVの臨床と課題 京都大学大学院医学研究科眼科学講師 山城 健児 参加費:2,000円	◇主催 ※宮崎大学医学部眼科学教室 ☎0985-85-2806	単位 4 CC 36

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位 CC がん検診
第167回宮崎県眼科医会講習会 2月6日(出) 16:00~19:00 宮崎観光ホテル	ユニバーサルデザインとカラーユニバーサルデザインを考える (株)武者デザインプロジェクト 武者 廣平 3大細菌感染症の病態と対応ー結膜炎・角膜炎・眼内炎ー ルミネはたの眼科 秦野 寛 参加費:3,000円	◇共催 宮崎県眼科医会 千寿製薬(株) (連絡先) 宮崎県眼科医会事務局 ☎0985-28-1015	単位 2 CC 36
延岡医学会学術講演会 2月12日(金) 19:00~20:30 ホテルメリージュ 延岡	病態理解に基づいた喘息治療・管理の新展開 京都大学医学部附属病院呼吸器内科講師 松本 久子	◇共催 延岡医学会 延岡内科医会 アステラス製薬(株) ※アストラゼネカ(株) ☎070-2283-9148	単位 1 CC 45 79
第130回宮崎県腹部超音波懇話会 2月20日(出) 17:00~18:30 南部病院	胃腸疾患の超音波診断(初級・中級者対象) 川崎医科大学附属病院検査診断学教授 畠 二郎 参加費:1,000円	◇主催 宮崎県腹部超音波懇話会 (連絡先) 西都児湯医療センター ☎0983-42-1113	単位 1.5 CC 2 53 (胃) (大腸)

読者の広場

日州医事11月号へいただいたご意見・ご感想を紹介します。

●「あなたできますか？ —平成26年度 医師国家試験問題より—」について

- ◆問題8. 診断したら直ちに保健所長を経由して都道府県知事に届け出なければならないのはどれか。2つ選べ。

a 結核 b 麻疹 c コレラ d アメーバ赤痢 e クリプトスポリジウム症

の回答で、a 結核と、c コレラの2つを正解としていますが、b 麻疹も正解(直ちに届け出なければならない疾患)ではないでしょうか？

(広報委員会より)

ご指摘ありがとうございます。現在掲載中の国家試験問題は平成26年度(平成27年2月7日～9日実施)のものを使用しています。この時点で麻疹は、「可能な限り24時間以内に届け出ること」とされてはいましたが、7日以内に保健所へ届け出る義務を有する五類感染症の位置づけでした。しかし、平成27年5月12日付の厚生労働省健康局長からの通知で、「医師が、都道府県知事に対して、患者の氏名、住所等を直ちに届けなければならない五類感染症として、侵襲性髄膜炎菌感染症及び麻疹を定めること」とされ、届け出に関しては、結核やコレラなどの一類～四類感染症と同じ扱いとなりました。したがってご指摘の通り、現時点ではb 麻疹も正解ということになります。

本来であれば、他の問題に差し替えるか、回答欄に注釈を加えるべきでした。ご指摘に感謝いたします。激動する時代に常にup to date できる広報委員会をめざして、さらに努力してまいります。

日州医事では、会員の皆さんからのご意見を募集しています。

(宮崎県医師会 FAX 0985-27-6550)

11月のベストセラー(宮崎県)

集計：2015年11月1日～11月24日

1	置かれた場所で咲きなさい	渡 辺 和 子	幻 冬 舎
2	下町ロケット②	池 井 戸 潤	小 学 館
3	大事なことにすぐにわかる マイナンバー制度	著 者 な し	講 談 社
4	面倒だから、しょう	渡 辺 和 子	幻 冬 舎
5	小説土佐堀川	古 川 智 映 子	潮 出 版 社
6	大世界史	池 上 彰	文 藝 春 秋
7	グラスホッパー	伊 坂 幸 太 郎	角 川 書 店
8	幸せはあなたの心が決める	渡 辺 和 子	幻 冬 舎
9	人生を面白くする本物の教養	出 口 治 明	幻 冬 舎
10	スタンフォードのストレスを力に変える教科書	ケリー・マクゴニガル	大 和 書 房

明林堂書店調べ 提供：本郷店(宮崎市大字本郷北方) ☎(0985) 56-0868

医師資格証を 持っていますか？



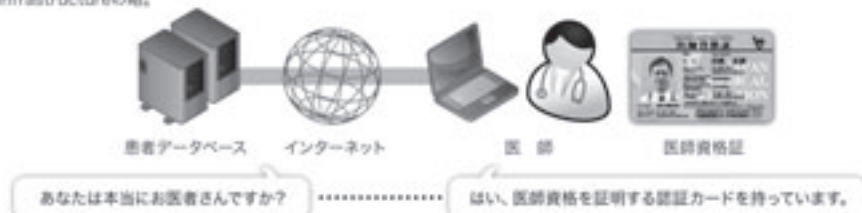
「医師資格証」とは、医師資格の電子証明書を格納したICカードです。

保健医療福祉分野のIT化を進めるためには、セキュリティを確保した基盤が求められています。

しかし、従来の医師免許証ではネットワーク上における医師資格を証明する事が出来ません。

日本医師会では、安全で安心して使えるIT基盤を実現するための、公開鍵基盤(PKI*)の枠組みを使った「日本医師会認証局」を運営し、医師資格の証明を行う「医師資格証」を発行しています。

*Public Key Infrastructureの略。



医師資格証ご利用シーン

資格証

提示することで
医師であることを
証明できる

出欠管理カード

講習・研修会の
受付時間や終了時間を
記録する場合

電子署名

コンピューター上で
捺印の必要な文書を
作成する場合

認証(通行証)

カルテや連携バス等の
医療情報を閲覧する場合

医師資格証 — ご利用お申し込み

必要書類を都道府県医師会などの地域受付審査局へご提出ください。 ※医師資格証には年会費がかかります。

持参して
いただく
もの

-① 発行申請書(写真添付～撮影から6ヵ月以内)
-② 住民票の写し(発行から3ヵ月以内)
-③ 身分証(下記のいずれか1点)
 - (a) 日本国旅券(有効期間内のもの)
 - (b) 運転免許証(有効期間内のもの)、運転経歴証明書(平成24年4月1日以降発行のもの)
 - (c) 住民基本台帳カード(有効期間内のもの・写真付)
 - (d) 官公庁職員身分証明書(顔写真貼付済み・写真付)
-④ 医師免許証原本または医師免許証コピーに実印を押印し、印鑑登録証明書を添付(発行から3ヵ月以内)

詳細は電子認証センターホームページ「医師資格証の申請について」をご覧ください。

<http://www.jmaca.med.or.jp/>

診療メモ



新興感染症：中東呼吸器症候群 (MERS : Middle East Respiratory Syndrome)について

宮崎大学医学部内科学講座免疫感染病態学分野 たか じょう いち ろう
高 城 一 郎

1 はじめに

中東呼吸器症候群(MERS)は、2012年に英国で初めて原因ウイルスが同定された新興感染症です。これまでにサウジアラビアやアラブ首長国連邦などのアラビア半島諸国において、散発例と院内感染事例がしばしば発生しており、世界の諸地域への輸入事例も報告されていました。ところが、2015年5月に、韓国において中東から帰国した68歳男性を契機に、複数の医療機関で多くの患者が発生し社会問題となりました。隣国での発生に、我が国でも緊張が高まりました。韓国との直行便は宮崎空港にも就航しており、エボラウイルス病のように感染者の入国が都会に限らないため、地方でも検疫体制の強化が求められました。

世界保健機関(WHO)の報告によると、2015年10月29日現在、世界で患者数1,611人、少なくとも死亡数575人が確認されています。韓国では7月5日以降、新規患者の報告がされておらず、我が国への感染拡大の懸念が極めて低くなったと考えられます。一方、サウジアラビアにおいては8月から医療機関内の二次感染を中心とした集団感染が発生しており、今後も注意が必要であると思います。

2 どんな病気か？

MERSコロナウイルス(MERS-CoV)の感染によっておこる急性の呼吸器感染症です。

MERSの臨床像は、無症状から急性上気道炎、急速進行性の肺炎、呼吸不全、敗血症性ショック、多臓器不全による死亡まで様々です。38℃を超える発熱、咳嗽、息切れなどの症状の頻度が高いです。ヒト-ヒト感染のデータによれば、潜伏期の中央値は5日(2~14日)であり、症状の出現から入院まで約4日間、重症患者においてICU入室まで約5日間、死亡まで12日間とされています。

血液検査所見は非特異的ですが、SARSや他の重症ウイルス性疾患同様に、白血球減少(特にリンパ球減少)がみられ、血小板減少、LDH上昇が認められる場合もあります。胸部X線・CTでは、ウイルス性肺炎、急性呼吸窮迫症候群に相当する像を示します。入院を必要とする患者の多くは合併症を有しており、致死率は約35%と報告されています。免疫不全、合併症(肥満、糖尿病、心疾患、肺疾患など)、併発する感染症、低アルブミン値、65歳以上の高齢などが予後不良因子とされます。

確定診断は、咽頭ぬぐい液などの気道分泌物からMERS-CoVを分離するか、PCR法によりウイルス遺伝子を検出することでなされます。

現在、MERSに対するワクチンや特異的な治療法はなく、対症療法が治療の基本となります。副腎皮質ホルモン投与は、SARS流行時の折に検討され、予後不良との関連が報告さ

れています。

感染源は完全には解明されていませんが、患者から分離されたMERS-CoVと同じウイルスが中東のヒトコブラクダから分離されていることなどから、ヒトコブラクダがMERSウイルスの保有動物であるとされており、感染源の一つとして疑われています。一方、患者の中には、動物との接触歴がない人も多く含まれており、家族間や医療機関における患者間、患者-医療従事者など、濃厚接触者間での感染も報告されています。韓国での事例は、韓国内の病院での院内感染によるものであり、主に飛沫感染(咳やくしゃみなど)または、接触感染による感染であると考えられています。

3 MERS対策

一般の医療機関においても、事前に連絡なく、MERSが疑われる患者が来院する可能性があると思います。患者に対して、渡航歴、接触歴、症状等を問診し、医療従事者もこれらの情報を必ず把握した上で、症状に応じた適切な感染予防策(患者にサージカルマスクを着用させる、他の患者と距離をとる、スタッフの感染予防策等)をとる必要があります。問診、診察の結果、MERSを疑う場合は、MERSは感染症法上の2類感染症であり、第一種もしくは第二種感染症医療機関での対応となるため、最寄りの保健所に連絡の上、対応についてご相談ください。日本環境感染学会より、「MERS感染予防のための暫定的ガイダンス」が作成されているのでご参照をお願いします。

一般向けの予防としては、MERSの発生が報告されている地域においては、咳やくしゃみなどの症状が

ある人との接触を避け、また、動物(ラクダを含む)との接触は可能な限り避けることが重要です。厚生労働省検疫所より、中東に渡航する方へ情報提供されています(<http://www.forth.go.jp/news/2014/05071434.html>)。

4 おわりに

韓国でのMERSアウトブレイク事例により、今後の対策を考える上で、多くの知見がもたらされたと思います。「日本は運が良かった」だけなのかもしれません。日本でも同様のことが起こりうると想定して、一般市民、医療従事者ともにMERSに関する知識、意識を持ち、日頃より備えることが重要であると思われます。

中東呼吸器症候群(MERS)

《注意》 MERSが発生している中東諸国で、患者やラクダと接触した方は、感染の可能性があるため、検疫所が最大14日間の健康監視(※)を行う場合があります。
※健康監視とは、検疫所に毎日体温等の健康状態を報告することです。

【症状】

感染してから2～14日後に、呼吸器症状(発熱、咳、息切れや呼吸困難など)を引き起こします。感染しても症状が出ない場合もあります。

【治療】

特別な治療方法やワクチンはありません。

【予防対策】

一般的な衛生対策として手洗いを。
咳やくしゃみなどの症状を示している人との接触はできる限り避ける。

【入国時に検疫所で】

発熱や咳などの呼吸器症状がある方や、MERSが疑われる患者又はラクダと接触した可能性がある方は、必ず、検疫官にお申し出ください。



【発生が報告されている中東諸国】



ラクダなど、動物との接触や、殺菌されていない乳や肉の喫食を避けましょう!!

【入国後症状が出たら】

入国後14日以内に、発熱や咳などの呼吸器症状がみられた方は、速やかに電話にて最寄りの保健所にご連絡ください。

国立感染症研究所ホームページ

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/>

検疫所ホームページ FORTH

<http://www.forth.go.jp>

宮大医学部学生のページ

医師臨床研修マッチング（研修医マッチング）について

宮崎大学医学部医学科 6年 ^{かわ}川 ^{かみ}上 ^{いさお}勲

●はじめに

臨床研修の必修化に伴うマッチング制度は、今年で13年目を迎えました。学生がマッチング制度を利用するためには、希望する病院の採用試験を受けなければなりません。採用試験は面接・小論文・筆記試験など、各病院で異なり、今年は倉敷中央病院が実技試験（5mmの折鶴を作れ/バラバラになった昆虫を直せ/米粒大の寿司を握れ、の3つの課題をこなす）を導入したことが話題となりました。

多くの学生は試験対策本を読み、履歴書の書き方や面接のマナー、小論文の書き方などの対策を行い、採用試験に臨みます。その後マッチング制度を利用して研修病院を決定し、国家試験に合格した後ははれてその病院で研修を受けることができます。以下にマッチング制度について、そして学生がマッチング制度を受けるにあたりどのように行動しているのかについて述べていきます。

●研修医マッチングとは

研修医マッチング（組み合わせ決定）は医師免許を得て臨床研修を受けようとするもの（研修希望者）と、臨床研修を行う病院（研修病院）の研修プログラムとを研修希望者および研修病院の希望を踏まえて一定の規則（アルゴリズム）に従って、コンピュータにより組み合わせを決定するシステムです。このアルゴリズムはデビッド・ゲイルとロイド・シャープレー（2012年ノーベル経済学賞受賞）という2人の学者によって提唱されたものであり、米国における研修医マッ

グ制度導入の際にも採用されました。

研修病院が各々、公募で研修医採用を行う場合、研修病院は内定辞退による欠員や過剰採用への対応が必要となります。また、研修医が複数施設から内定を受け取った場合、回答締め切り日の差異により最も希望する病院と雇用契約を結ぶことができない可能性もありました。こうした非効率を回避することができるのが、マッチング制度の利点です。

また、学生側も病院側も、相手や他の学生・病院がどのように登録しているかを考えて戦略を立てる必要が一切ないことも利点として挙げられます。素直に自分が希望する順番通りに登録することが学生と病院双方にとって最も良いマッチ（組み合わせ）となります。このマッチングアルゴリズムについては、マッチング協議会ホームページ（www.jrmp.jp）のマッチングの組み合わせ決定アルゴリズム図解を実際に動かしてみると、より良く理解していただけたと思われます（図1）。

●医師臨床研修マッチングの特徴

マッチングシステムの参加は任意となっています。ただし初期臨床研修を行っている病院のほとんどがマッチングシステムに参加しているため、学生もほぼ全員マッチングシステムに参加します。そして参加登録した場合は、必ずマッチ結果に従わなければなりません。よって学生は研修したくない病院を希望順位に登録してはなりません。また、参加者（研修希望者）と参加病院（研修病院）の希望順位表にない組み合わせ

は生じないようにしています。よって研修医の強制配置に用いられることはありません。

●学生のマッチングまでの流れ

マッチングで登録する病院を決めるために、行動が早い学生は4年生や5年生の頃から、病院の合同説明会や見学に行っています。見学の回数が採用試験に影響を与える病院もあることが早い時期から見学に行く理由の一つとなっています。そして6年生の夏休みに各病院で採用試験を受け、マッチングシステムに希望順位を

登録し、10月末の組み合わせ結果発表を待ちます。アンマッチ(組み合わせが決まらないこと)となった場合は、2次募集に応募し、研修先を探すこととなります。

私も2つの病院を受験しました。この記事を書いている現時点ではまだ、研修先は決まっておられません。どの病院で初期研修を受けることになっても、一所懸命に頑張っていきたいと思っています。



図1 マッチングの組み合わせ決定アルゴリズム図解

出典：マッチング協議会ホームページアルゴリズム図解
 < <https://www.jrmp.jp/matching3.swf> >

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）までご連絡ください。

送付日	文 書 名
10月13日	・労働災害減少に向けた緊急要請について ・法人番号の「通知・公表」開始スケジュールの周知について ・地域医療構想策定における患者流出入を踏まえた必要病床数推計の都道府県間調整方法について ・中東呼吸器症候群(MERS)の国内発生時の対応に関するQ&Aについて ・労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び労働安全衛生規則等の一部を改正する省令の施行について ・看護師等が行う診療の補助行為及びその研修の推進について ・「看護職員の離職に伴う届出制度及びナースセンターが行う無料職業紹介事業(eナースセンター)の認知に関するアンケート」へのご協力をお願い ・テムセルHS注の使用に当たっての留意事項について ・バンデタニブ製剤の使用に当たっての留意事項について ・舌下投与用ダニ抽出エキス製剤の使用に当たっての留意事項について
10月14日	・医療法人が開設する病院等の管理者の理事就任について ・労働者派遣法の改正に伴う「医療法人の附帯業務について」の一部改正について ・医療事故情報収集等事業第42回報告書の公表について(通知) ・被爆者健康手帳の無効について(通知)
10月15日	・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
10月19日	・シプロキササン注200mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項について ・ザガーロカプセル0.1mg及び同0.5mgの医薬品医療機器法上の承認に伴うアボルブカプセル0.5mgの留意事項について ・使用薬剤の薬価(薬価基準)の一部改正等について ・材料価格基準の一部改正等について ・医療機器の保険適用について ・「医療機器の保険適用について」の一部訂正について ・公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・特定行為に係る看護師の研修制度に関するQ&Aについて ・「医療法施行規則の一部を改正する省令の施行について」の一部改正について(医療機関における放射線照射装置の安全管理)
10月21日	・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・インフルエンザHAワクチン“化血研”の出荷自粛要請の解除について

送付日	文 書 名
10月23日	・黄熱の予防接種実施機関の指定について ・急性弛緩性麻痺(AFP)を認める症例の実態把握について ・若年者心疾患・生活習慣病対策協議会2015年度心臓・生活習慣病検診に関する協議会報告並びに2016年度アンケートのお願いについて ・日本医師会におけるマイナンバー制度に係る諸規程整備について ・医療事故情報収集等事業「医療安全情報№107」の提供について(通知) ・独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する健康被害救済制度に関する集中広報の周知について ・平成27年度「児童虐待防止推進月間」の実施について
10月24日	・長期入院者がマイナンバー通知カードを入院先で受け取るに当たっての居所情報の登録申請が間に合わなかった場合の取扱いの周知について
10月26日	・医療事故情報収集等事業第42回報告書の送付について
10月28日	・「看護職員の離職に伴う届出制度及びナースセンターが行う無料職業紹介事業(eナースセンター)の認知に関するアンケート」の実施期間の延長について ・全日本病院協会「看護師特定行為研修指導者講習会」(第7回, 第8回)について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
10月29日	・「使用上の注意」の改訂について
11月4日	・「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業」に基づく接種に係る医薬品副作用被害救済制度の請求期限の周知について ・平成27年度リスク評価結果等に基づく労働者の健康障害防止対策の徹底について ・日本医師会・地域がん登録全国協議会共催がん罹患・死亡の都道府県較差に関するシンポジウムの開催について ・平成27年度環境省事業「電子マニフェスト導入実務研修会・電子マニフェスト操作体験セミナー」の開催について ・「介護の心」シンポジウムの開催について(通知) ・「アルコール関連問題啓発週間」に係るポスターについて ・「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業」に基づく接種に係る医薬品副作用被害救済制度の請求期限の周知について(依頼) ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令の公布及び一部施行について ・クアトロバック皮下注シリンジについて ・「病原微生物検出情報」の送付について
11月5日	・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
11月6日	・平成27年度薬局・薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業の実施について(依頼) ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業平成26年年報」の周知について

平成27年 総目次 (No.785～No.796)

【表紙】

ダイヤモンド富士	宮崎市	田尻明彦	1月号
鷺の匂	延岡市	岡村公子	2月号
浮草のひかりに溶けてゆくばかり	都城市	丸田茂徳	3月号
トノサマバツタ、丹頂鶴、トンボ、金魚	都城市	政所治道	4月号
川べりの風景	宮崎市	黒川基樹	5月号
満開の芍薬	宮崎市	石川万佐子	6月号
夏休み	日南市	新木るり	7月号
水平線の花火(みやざき臨海公園)	宮崎市	井ノ口信子	8月号
北浦百景 古江港「波紋」	延岡市	日高利昭	9月号
南阿蘇の晩秋	宮崎市	西村篤乃	10月号
花	西都市	安藤宣	11月号
夕照霧島	小林市	矢野裕士	12月号

【会長のページ】

年頭所感「医師会とは」			1月号
「公的国民皆保険制度」を守る			2月号
医師確保(研修医確保)について			3月号
宮崎県医師会創立126周年記念医学会			4月号
新専門医制度について			5月号
厚生局指導について			6月号
九州医師会連合会について			7月号
県医総会・代議員会並びに高木兼寛像除幕式			8月号
医療事故調査制度について			9月号
健康長寿とロコモティブシンドローム			10月号
TPPと医療			11月号
介護報酬改定について			12月号

【温故知新】

第31代会長 稲倉正孝先生			8月号
---------------	--	--	-----

【日州医談】

今を観る	常任理事	金丸吉昌	2月号
最近の労働安全衛生法の改正～メンタルヘルスチェックについて～			
宮崎県における小児夜間救急体制とその問題点	常任理事	佐々木幸二	3月号
県立宮崎病院における医師臨床研修について	常任理事	高村一志	4月号
医療等分野における番号制度	理事	上田章	5月号
医療情報サービス事業「Minds」について	理事	峰松俊夫	6月号
胎児検査の精度と限界	常任理事	小牧斎	7月号
「医療メディエーター」について	理事	鯨島浩	8月号
医療分野等におけるID導入について	常任理事	立元祐保	8月号
医師・看護職員不足とある対策	常任理事	荒木早苗	8月号
消費税に関する日本医師会の取組みと課題	理事	内村大介	9月号
宮崎県の小児医療の現状と課題	常任理事	立元祐保	9月号
	理事	糸数智美	10月号

有床診は絶滅危惧種か？

理 事

川 野 啓一郎

11月号

ロコモティブシンドロームと周辺疾患

理 事

佐 藤 信 博

12月号

【退任教授挨拶】

寄附講座「地域医療・総合診療医学講座」の5年間を振り返って

地域医療・総合診療医学講座教授

長 田 直 人

4月号

【新任教授挨拶】

機能制御学講座薬理学分野教授

武 谷 立

4月号

病態解析医学講座放射線医学分野教授

平 井 俊 範

4月号

成人・老年看護学講座臨床薬理学分野教授

柳 田 俊 彦

5月号

外科学講座肝胆膵外科学分野教授

七 島 篤 志

10月号

感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野教授

山 下 善 弘

10月号

コミュニティー・メディカルセンター教授、宮崎市立田野病院長

近 藤 千 博

11月号

感覚運動医学講座皮膚科学分野教授

天 野 正 宏

12月号

【挨拶】

年頭所感

日本医師会長

横 倉 義 武

1月号

年頭所感

顧問

秦 喜 八 郎

1月号

年頭所感

顧問

稲 倉 正 孝

1月号

年頭所感

宮崎市郡医師会長

川 名 隆 司

1月号

年頭所感

都城市北諸県郡医師会長

飯 田 正 幸

1月号

年頭所感

延岡市医師会長

吉 田 建 世

1月号

年頭所感

日向市東臼杵郡医師会長

渡 邊 康 久

1月号

年頭所感

児湯医師会長

永 友 和 之

1月号

年頭所感

西都市西児湯医師会長

岩 見 晶 臣

1月号

年頭所感

南那珂医師会長

島 田 雅 弘

1月号

年頭所感

西諸医師会長

高 崎 直 哉

1月号

年頭所感

西臼杵医師会長

佐 藤 元二郎

1月号

年頭所感

宮崎大学医学部医師会長

吉 原 博 幸

1月号

年頭所感

内科医会長

小 牧 斎

1月号

年頭所感

小児科医会長

三 宅 和 昭

1月号

年頭所感

外科医会長

八 尋 克 三

1月号

年頭所感

整形外科医会長

川 野 啓一郎

1月号

年頭所感

皮膚科医会長

成 田 博 実

1月号

年頭所感

泌尿器科医会長

中 山 健

1月号

年頭所感

産婦人科医会長

濱 田 政 雄

1月号

年頭所感

眼科医会長

柴 田 博

1月号

年頭所感

耳鼻咽喉科医会長

井 手 稔

1月号

年頭所感

精神科医会長

吉 田 建 世

1月号

年頭所感

放射線科医会長

田 村 正 三

1月号

年頭所感

東洋医会長

川 越 宏 文

1月号

年頭所感

透析医会長

藤 元 昭 一

1月号

年頭のご挨拶

宮崎県知事

河 野 俊 嗣

1月号

年頭のご挨拶

宮崎大学長

菅 沼 龍 夫

1月号

年頭のご挨拶

衆議院議員(1区)

武 井 俊 輔

1月号

年頭のご挨拶

衆議院議員(2区)

江 藤 拓

1月号

年頭のご挨拶

衆議院議員(3区)

古 川 禎 久

1月号

年頭のご挨拶	参議院議員	松 下 新 平	1月号
年頭のご挨拶	参議院議員	長 峯 誠	1月号
年頭のご挨拶	県議会議員	清 山 知 憲	1月号

【随想・随筆】

「正月と植物」のおさらい	西 都 市	友 成 久 雄	3月号
曾祖父と清水次郎長	日 向 市	渡 邊 康 久	5月号
すぐ返事を	宮 崎 市	谷 口 二 郎	5月号
ひと切れのバター	宮 崎 市	森 憲 正	6月号
カラスのフン返し	宮 崎 市	谷 口 二 郎	6月号
3度目の東京	宮 崎 市	川 野 啓一郎	9月号
宮崎軽便鉄道	宮 崎 市	林 透	9月号
還らざる刻(とき),忘れ得ぬ症例—Pathology Anthem	日 南 市	北 村 和 生	9月号
生まれたばかりの赤ちゃんに勇気をもらう	宮 崎 市	谷 口 二 郎	11月号

【新春随想・俳壇・歌壇・川柳・絵画】

新年まず気になること	日 南 市	山 見 信 夫	1月号
最後の仕事—残された時間—	宮 崎 市	山 村 善 教	1月号
転倒肋骨骨折	延 岡 市	藤 本 孝 一	1月号
老年の美学	延 岡 市	宝珠山 弘	1月号
阿蘇山の旅	日 向 市	康 田 明 照	1月号
パソコンとの33年間の付き合い	宮 崎 市	加 藤 丈 司	1月号
発想, 着眼が大事	西 都 市	後 藤 有 人	1月号
アルゼンチン・バラニー学会(国際めまい平衡医学会)報告	延 岡 市	清 水 謙 祐	1月号
私の趣味	宮 崎 市	弓 削 孝 雄	1月号
綾・照葉樹林マラソン	都 城 市	野 田 俊 一	1月号
残りの人生の中で目論むこと	宮 崎 市	水 野 昭 夫	1月号
八十路の想い	延 岡 市	岸 田 克 明	1月号
雑草花, 静かなとき	宮 崎 市	清 田 正 司	1月号
私の野球歴	門 川 町	田 中 浩 夫	1月号
せめての家内孝行	宮 崎 市	谷 口 二 郎	1月号
水底	延 岡 市	長 沼 弘三郎	1月号
アジア太平洋呼吸器学会報告トラジャコーヒーの国へ	宮 崎 市	重 永 哲 洋	1月号
閉店	宮 崎 市	獅子目 轉	1月号
方言の乱(12年目の続編)	えびの市	森 藤 秀 美	1月号
健康診断で今年も元気	宮 崎 市	立 山 浩 道	1月号
とっておきの風景	日 向 市	千代反田 晋	1月号
平均寿命と梅毒	宮 崎 市	田 尻 明 彦	2月号
聴くだけクラシック	日 南 市	竹 中 晃 司	2月号
挫折もまた楽し	宮 崎 市	窪 山 美 穂	2月号
女川町	高 鍋 町	坂 田 師 隣	2月号
活字の誘惑	高 鍋 町	大 森 史 彦	2月号
ちょっとだけ残念だったこと	高 原 町	柊 山 了	2月号
オートバイと私	宮 崎 市	楠 元 直 彬	2月号
鶴の恩返し	宮 崎 市	平 部 久 彬	2月号
木彫りのフクロウ	串 間 市	満 留 武 宣	2月号

時間感覚	宮 崎 市	日 高	恵 子	2月号
蛍の航跡	都 城 市	佐々木	幸 二	2月号
おこのみやき パートⅡ	高 鍋 町	米 澤	勤	2月号
前回の未年と次回の未年を想う	宮 崎 市	大 西	淳 仁	2月号
【はまゆう随筆・短歌・俳句】				
植民地時代	延 岡 市	宮 田	純 一	7月号
調和(バランス)	延 岡 市	宝珠山	弘	7月号
ついにやった	宮 崎 市	高 崎	眞 弓	7月号
喜寿におもうこと	宮 崎 市	増 田	好 治	7月号
パーソナルトレーニング ライオップのCM を観て	宮 崎 市	横 内	哲 博	7月号
鮎の摂取状況に関する研究	高 鍋 町	大 森	史 彦	7月号
ささやかな楽しみ 雑草との出会い	日 向 市	首 藤	敏 秀	7月号
人生は、いま、夕焼け	宮 崎 市	細 見	潤	7月号
最近のウイルス事情	宮 崎 市	南 嶋	洋 一	7月号
大学卒業後五十五年	延 岡 市	藤 本	孝 一	7月号
継文(つぎぶみ)	延 岡 市	長 沼	弘三郎	8月号
「総合診療専門医には担当医交代制が必要」これを育成するのは地域の診療所である。				
	日 南 市	河 野	清 秀	8月号
不適切な天気予報	宮 崎 市	谷 口	二 郎	8月号
和して唱えず	延 岡 市	木 下	義 美	8月号
50年越しの夏休みの宿題	高 原 町	柊 山	了	8月号
医者稼業40年	宮 崎 市	山 村	善 教	8月号
娘の旅立ちーハワイにて	小 林 市	小 原	健 一	8月号
天国泥棒	高 鍋 町	坂 田	師 通	8月号
鉄欠乏性…	宮 崎 市	細 川	和 義	8月号
事故と香港とセーラー服	日 向 市	尾 崎	峯 生	8月号
サンデー・クッキング	宮 崎 市	山 崎	俊 輔	8月号
【寄稿】				
自賠責保険における諸問題	宮 崎 市	尾 田	朋 樹	2月号
地域医療に関する県政の動向	宮崎県議会議員	清 山	知 憲	3月号
「フェニックスプログラム」での3 県立病院研修について				
フェニックスプログラム研修修了1 期生		目 井	秀 門	8月号
【エコー・リレー】				
剣道と私	都 城 市	ト 部	浩 俊	1月号
開業1 年での変化	宮 崎 市	弓 削	昭 彦	1月号
開業を振り返って	日 向 市	山 内	正 倫	2月号
スキューバダイビング	都 城 市	池ノ上	貴	2月号
本場で知ったスコッチの味	日 向 市	首 藤	敏 秀	3月号
私の被虐的趣味について	都 城 市	永 野	由 起	3月号
白甘鯛	延 岡 市	佐 藤	伸 矢	4月号
米良三山	串 間 市	岡 村	武 志	4月号
海礼賛	日 向 市	入 澤	壮 吉	5月号
魚のいない川	高 鍋 町	由 浅	充 崇	5月号
宮崎に医学書専門店を	宮 崎 市	吉 富	健	6月号
野球と心理的ストレス	日 向 市	堀 弥	生	6月号

「来た。見た。勝った」そして「お前もか」(ユリウス・カエサル)

宮崎市	武田龍一郎	7月号
宮崎市	日高明義	7月号
延岡市	清水謙祐	8月号
都城市	大窪利隆	8月号
宮崎市	日高四郎	9月号
延岡市	野村朝清	9月号
宮崎市	川越誠志	10月号
宮崎市	弘野修一	10月号
日向市	川原岳	11月号
串間市	加藤久仁彦	11月号
宮崎市	三原謙郎	12月号
宮崎市	小松弘幸	12月号

【叙位・叙勲】

瑞宝小綬章	日向市東臼杵郡医師会	田中浩夫	1月号
旭日双光章	宮崎市郡医師会	綾部隆夫	1月号
平成26年1月～12月までの叙勲及び表彰・祝賀受賞会員			1月号
旭日小綬章	宮崎市郡医師会	稲倉正孝	8月号
瑞宝小綬章	都城市北諸県郡医師会	永田利安	8月号

【表彰・祝賀】

安全衛生に係る厚生労働大臣表彰	延岡市医師会	小岩屋靖	1月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	春田厚	1月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	延岡市医師会	佐藤信博	1月号
労働基準行政関係功績により厚生労働省労働基準局長表彰	宮崎市郡医師会	原田一道	3月号
公衆衛生事業功績により厚生労働大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	児玉實志	5月号
公衆衛生事業功績により厚生労働大臣表彰	西都市西児湯医師会	相澤潔	5月号
公衆衛生事業功績により日本公衆衛生協会会長表彰	都城市北諸県郡医師会	濱田義臣	5月号
医療功績により県知事表彰	宮崎市郡医師会	田中隆次	8月号
医療功績により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	吉見多喜雄	8月号
医療功績により県知事表彰	延岡市医師会	岸田克明	8月号
医療功績により県知事表彰	児湯医師会	蟻塚高生	8月号
医療功績により県知事表彰	南那珂医師会	中島昌文	8月号
医療功績により県知事表彰	西諸医師会	榎健一郎	8月号
医療功績により県知事表彰	宮崎市郡医師会	市来齋	9月号
医療功績により県知事表彰	宮崎市郡医師会	井之上保子	9月号
医療功績により県知事表彰	宮崎市郡医師会	小野武己	9月号
医療功績により県知事表彰	宮崎市郡医師会	小波津守良	9月号
医療功績により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	三嶋孝雄	9月号
医療功績により県知事表彰	延岡市医師会	木下善美	9月号
医療功績により県知事表彰	延岡市医師会	小池明子	9月号
医療功績により県知事表彰	延岡市医師会	日高隆徳	9月号
医療功績により県知事表彰	西諸医師会	池井亨	9月号
医療功績により県知事表彰	西諸医師会	針貝正純	9月号
救急医療功績により県知事表彰	宮崎市郡医師会	古賀和美	10月号

救急医療功勞により県知事表彰	延岡市医師会	小川修	10月号
救急医療功勞により県知事表彰	西都市西児湯医師会	岩見晶臣	10月号
救急医療功勞により厚生労働大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	夏田康則	10月号
産科医療功勞により厚生労働大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	隅清賢	10月号
【あなたできますか？】			各号
【宮崎県感染症発生動向】			各号
【メディアの目】			
子どもの貧困を取材して	共同通信社 宮崎支局長	池谷孝司	2月号
音楽のチカラ	日本経済新聞 宮崎支局長	土居輝行	3月号
人口減社会	読売新聞社 宮崎支局長	秋吉直美	4月号
宮崎を回る	西日本新聞 宮崎総局長	森本博樹	5月号
マスターズ水泳から始めては？	時事通信社 宮崎支局長	牧野達夫	6月号
振り幅	毎日新聞社 宮崎支局長	加藤藤学	7月号
戦後70年、戦争を知らない孫たちの時代	UMK テレビ宮崎 報道部長	坂元秀光	8月号
無駄な薬はある？	宮崎日日新聞社 報道部長	杉尾守	9月号
高校野球100年 その歴史が面白い！	MRT 宮崎放送 報道部長	馬登貴	10月号
良きサマリア人たち	南日本新聞社 宮崎支局長	重嶋修一	11月号
メディアの目	NHK 宮崎放送局 放送部長	濃明修	12月号
【郡市医師会だより】			
南那珂医師会(メイン)	副会長	中村彰伸	2月号
西諸医師会(メイン)	理事長	花田武浩	3月号
西臼杵郡医師会(メイン)	会長	佐藤元二郎	4月号
宮崎市医師会(メイン)	理事長	尾田朋樹	5月号
都城市北諸県郡医師会(メイン)	理事長	宇宿修隆	6月号
延岡市医師会(メイン)	理事長	金井一男	7月号
日向市東臼杵郡医師会(メイン)	会長	渡邊康久	8月号
宮崎大学医学部だより(メイン)	会長	吉原博幸	9月号
児湯医師会(メイン)	理事長	高山修二	10月号
西都市西児湯医師会(メイン)	理事長	黒木重晶	11月号
南那珂医師会(メイン)	会長	島田雅弘	12月号
【国公立病院だより】			
日之影町国民健康保険病院	院長	上田修三	3月号
えびの市立病院	院長	河内謙介	7月号
都農町国民健康保険病院	院長	立野進	9月号
宮崎大学医学部附属病院	宮崎大学理事・附属病院長	吉原博幸	11月号
【宮崎大学医学部だより】			
機能制御学講座 応用生理学分野	准教授	中島融一	2月号
病態解析医学講座 救急・災害医学分野	教授	落合秀信	3月号
機能制御学講座 薬理学分野	教授	武谷立	4月号
発達泌尿生殖医学講座 小児科学分野	講師	澤田浩武	5月号
病理学講座 構造機能病態学分野	助教	山下篤	6月号
内科学講座 循環体液制御学分野	医局長	鶴田俊博	8月号
感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野	医局長	川畑隆之	9月号
内科学講座 消化器血液学分野	医局長	山本章二朗	10月号
病態解析医学講座 麻酔生体管理学分野	教授	恒吉勇男	11月号
解剖学講座 超微形態科学分野	教授	澤口朗	12月号

【専門分科医会だより】

整形外科医会	会 長	川 野 啓一郎	4月号
精神科医会	会 長	吉 田 建 世	6月号
眼科医会	会 長	柴 田 博	7月号
透析医会	幹 事	盛 田 修一郎	9月号
小児科医会	会 長	三 宅 和 昭	10月号
泌尿器科医会	会 長	中 山 健	11月号
産婦人科医会	会 長	濱 田 政 雄	12月号

【部会だより】

病院部会・医療法人部会	病院部会長	濱 砂 重 仁	3月号
産業医部会	常任理事	佐々木 幸 二	5月号
労災部会	部 会 長	増 田 好 治	8月号

【報告(宮崎県医師会各種委員会)】

介護保険委員会	2月号
健康スポーツ医学委員会	2, 11月号
健康教育委員会	2, 11月号
医学賞選考委員会	2月号
医学会誌編集委員会	4月号
予防接種委員会	5月号
公衆衛生・感染症委員会	7月号
地域医療ビジョン委員会	8月号
救急医療委員会	9月号

【報告(諸会議)】

九州医師会連合会第344回常任委員会	1月号
県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	2月号
医師会立看護学校担当理事連絡協議会	2月号
九州医師会連合会第108回臨時委員総会	2月号
九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会	2月号
第114回九州医師会連合会総会・医学会	2月号
宮崎県地域医療・福祉推進協議会代表者会	3月号
九州各県医師会学校保健担当理事者会	3月号
平成26年度九州学校検診協議会第2回専門委員会	3月号
九州医師会連合会第345回常任委員会	3月号
第2回各都市医師会長協議会	4月号
宮崎県医師会創立126周年記念医学会	4月号
九州医師会連合会平成26年度第2回各種協議会	4月号
平成26年度日本医師会医療情報システム協議会	4月号
平成26年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会	5月号
都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会	6月号
都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会	6月号
都道府県医師会地域医療構想(ビジョン)担当理事連絡協議会	7月号
都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会	7月号
都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会	7月号
九州医師会連合会第346回常任委員会	7月号
第1回各都市医師会長協議会	7月号
宮崎県医師会医学会役員会	7月号

九州医師会連合会第347回常任委員会	8月号
九州医連連絡会第24回常任執行委員会	8月号
第162回宮崎県医師会定例代議員会(概要)	8月号
高木兼寛先生胸像除幕式	8月号
平成27年度第72回宮崎県医師会総会	8月号
九州医師会連合会第348回常任委員会	9月号
平成27年度九州学校検診協議会第1回専門委員会	10月号
第59回九州ブロック学校保健・学校医大会 平成27年度九州学校検診協議会(年次大会)	10月号
第16回宮崎県医師会医家芸術展	10月号
全国医師会医療秘書学院連絡協議会 第65回定例総会・平成27年度第1回運営委員会	11月号
九州医師会連合会第350回常任委員会	11月号
第37回産業保健活動推進全国会議	12月号
第2回各都市医師会長協議会	12月号

【報告(その他)】

第26回新研修医保険診療等説明会並びに祝賀会	7月号
宮崎県医師会親善ゴルフ大会	12月号

【薬事情報センターだより】

新薬紹介(その74)	1月号
新薬紹介(その75)	2月号
後発医薬品品質情報	3月号
新薬紹介(その76)	4月号
新薬紹介(その77)	5月号
機能性表示食品	6月号
新薬紹介(その78)	7月号
新薬紹介(その79)	8月号
新薬紹介(その80)	9月号
新薬紹介(その81)	10月号
新薬紹介(その82)	11月号
希少疾病用医薬品・希少疾病用医療機器・希少疾病用再生医療等製品	12月号

【宮崎県医師国保組合だより】

第19回歩こう会について(予告)	2月号
国民健康保険法第116条にかかる届出のお願い	3月号
平成27年度の保険料賦課について	4月号
第19回歩こう会に参加して…	
県医師国保組合 延岡市医師会支部長 佐藤 信博	5月号
平成26年度宮崎県医師国民健康保険組合第112回通常組合会	5月号
ロコモ予防市民公開講座のご案内	6月号
平成27年度宮崎県医師国民健康保険組合第113回通常組合会	9月号
保険事業のご案内	10月号

【追悼のことば】

高山 淳 先生	宮崎市郡医師会	2月号
宮永 家昌 先生	都城市北諸県郡医師会	5月号
内村 利男 先生	南那珂医師会	5月号
政所 修治 先生	都城市北諸県郡医師会	7月号
北國 秀一 先生	延岡市医師会	11月号
近間 尚 先生	宮崎市郡医師会	12月号
千代反田 泉 先生	日向市東臼杵郡医師会	12月号

【ニューメンバー】(新入会員・新規開業会員)

國 枝 良 行 (くにえだ よしゆき)	宮 崎 市	2 月号
中 尾 紘 一 (なかお こういち)	宮 崎 市	3 月号
白 井 茂 夫 (しらい しげお)	日 南 市	3 月号
小 島 岳 史 (こじま たけし)	宮 崎 市	6 月号
横 山 真一郎 (よこやま しんいちろう)	宮 崎 市	6 月号
太田尾 龍 (おおたお りゅう)	延 岡 市	6 月号
吉 村 雄 樹 (よしむら ゆうき)	小 林 市	7 月号
寺 谷 威 (てらたに たけし)	小 林 市	7 月号
佐 藤 伸 矢 (さとう しんや)	延 岡 市	8 月号
宇 都 浩 文 (うと ひろふみ)	宮 崎 市	8 月号
有 川 章 治 (ありかわ しょうじ)	宮 崎 市	9 月号
河 原 勝 博 (かわはら かつひろ)	宮 崎 市	9 月号
大 塚 伸 昭 (おおつか のぶあき)	宮 崎 市	10 月号
福 留 真 二 (ふくどめ しんじ)	宮 崎 市	11 月号
富 山 由美子 (とみやま ゆみこ)	小 林 市	11 月号
菰 渕 勇 人 (こもぶち はやと)	延 岡 市	12 月号
室 井 栄 治 (むろい えいじ)	宮 崎 市	12 月号

【診療メモ】

新しく見つかった宮崎に多い感染症：重症熱性血小板減少症候群 (Severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)	宮崎大学医学部感染症膠原病内科	岡 山 昭 彦	1 月号
私の想いをつなぐノート(エンディングノート)について	宮崎市健康管理部	伊 東 芳 郎	2 月号
心房細動に対する抗凝固療法	名越内科	名 越 敏 郎	3 月号
少年野球における野球肘の予防について	宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野	石 田 康 行, 帖 佐 悦 男	4 月号
「心臓が悪くても元気で長生きできる！」～心臓リハビリテーションのすすめ～	JCHO 宮崎江南病院	渡 邊 玲 子	5 月号
COPD について	宮崎県立宮崎病院内科	姫 路 大 輔	6 月号
宮崎県立宮崎病院ドクターカー 平成26年度活動報告	宮崎県立宮崎病院救命救急科	長 嶺 育 弘	7 月号
宮崎県小児救急医療電話相談事業(＃8000)	宮崎県小児科医会	三 宅 和 昭	8 月号
宮崎地域糖尿病療養指導士の誕生	宮崎県地域糖尿病療養指導士認定機構	中 村 周 治	9 月号
C型肝炎の新しい経口剤治療について	宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター	永 田 賢 治	10 月号
働き盛り世代の自殺－自験例より	大西医院	大 西 雄 二	11 月号
新興感染症：中東呼吸器症候群(MERS: Middle East Respiratory Syndrome)について	宮崎大学医学部内科学講座免疫感染病態学分野	高 城 一 郎	12 月号

【私の本】

眼の神秘 SEM アトラス	宮 崎 市	杉 田 新	6 月号
ノロに見舞われて	日 南 市	宮 路 重 和	7 月号

【読者の広場】

11, 12月号

【告知】

第162回宮崎県医師会定例代議員会開催

6月号

【宮大医学部学生のページ】

〔宮崎大学学園祭〕第10回清花祭～祭飾絢美～

1月号

サークル紹介ーMCPP (Miyazaki Primary Care Circle)ー

医学科6年 原 尾 拓 朗 5月号

アメリカ留学体験記～カリフォルニア大学アーバイン校 Emergency Department ～

医学科6年 大 園 千 穂 6月号

初期研修先病院決定までの医学生の動き～イベントを活用した初期研修先病院選び～

医学科5年 牧 原 佑 子 7月号

音楽祭クラシック部門、音楽祭ポップス部門

医学科4年 山 内 佑 太, 中 村 孝 之 8月号

プリンス・オブ・ソクラ大学(PSU)での1か月

医学科3年 外 山 直 樹 9月号

〔宮崎大学学園祭〕第11回清花祭～宮大浪漫～

10, 11月号

医師臨床研修マッチング(研修医マッチング)について

医学科6年 川 上 勲 12月号

【その他】

社会保険診療報酬支払基金宮崎支部審査委員名簿(医科)

7月号

平成27年総目次

12月号

【案内】

平成27年度第72回宮崎県医師会総会

6月号

平成27年度宮崎県医師会医学会のご案内

8月号

【お知らせ】

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

各号

郡市医師会への送付文書

各号

平成26年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い

1月号

第29回日本医学会総会

1月号

宮崎県医師会医療情報コーナー

2, 6～9, 11, 12月号

県医師会在宅医療協議会入会のご案内

2, 4, 5月号

女性医師メーリングリストのご案内

2, 7月号

宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ

2, 3, 6, 7, 11月号

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

4, 6, 8, 9, 11月号

宮崎県看護協会からのお知らせ

4月号

宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置

4月号

「はまゆう随筆」原稿募集

5, 6月号

第16回宮崎県医師会医家芸術展作品募集!

5, 6月号

日本医師会医師年金ご加入のすすめ

5, 7～10月号

医師資格証を持っていますか?

5～7, 11, 12月号

クールビズについて

5～10月号

第16回宮崎県医師会医家芸術展

7, 8月号

平成27年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い

7～9, 12月号

「新春随想」原稿募集

10, 11月号

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

10～12月号

カット、イラストの募集

10月号

医療事故調査制度 相談窓口

11, 12月号

県医師テニス大会(冬季)への参加のご案内

12月号

年末・年始の休館について

12月号



最近の小学生はとてもお勉強しています。私が小学生の頃は中学受験といえば宮崎大学附属中学校ぐらいであり、しかも試験で定員の2倍が合格し、抽選で半分落ちるので、結局は運次第という緩い雰囲気がありました。私は校区の中学校が丸刈り強制であり、その恐怖で6年生から塾に行きました。しかし今は西高附属中、宮崎大学附属中に加え、私立も実績を上げており中学受験が熱く、6年生からでは遅いらしいです。仕事にかまけて長いこと気にかけてこなかったのですが、長女が5年生、次女が4年生になり、そろそろ受験かなと思い成績を見て唖然。それから父と娘達の勉強の日々が始まりました。塾のない日は、診療が終わるころに娘達が医院にやってきて勉強を行い、9時すぎに一緒に家に帰ります。まさか40歳目前にして、漢字の書き順、部首、全国の地理等に精通することになるとは思いませんでした。術後の患者さんをみたり、仕事をしながら大変ではありますが、会話が以前よりずっと増えて楽しんでいる部分もあります。模試のため自転車で塾に向かう子ども達を見送り、努力が報われることを祈り、これが受験生を持つ親の心境なのかと感慨深くなりました。全部で5人いるので気が遠くなりますが、いつか振り返ったとき、楽しい思い出になるのでしょうか。私事を書き連ねてしまいましたが、あのかわいらしいランドセルの群れも、すでに競争にさらされているのです。みんな頑張れ！

(岡本)

* * *

痩せました。歯茎が…。この1、2年、メタボ改善のためできるだけ毎日歩くようにしていたのに体は痩せず、歯茎だけがどんどん痩せていきました。重い腰を上げて歯科医院に行ってみたら、進行した歯周病でした。歯槽骨が溶けており、hopelessと言われ、とうとう先日、一本抜歯されました。幼少時、虫歯がなく歯並びも良いと淡路島2位の健康優良児で表彰された過去の栄光が余計に悲しくさせます。定期クリーニング大事です。皆様もお気をつけください。

(沖田)

* * *

今年の我が家の子供たちの成長を振り返ってみると、4歳の息子は怪獣のようにたくましくなり、5か月の娘はずりばいを始めるようになりました。世界では、連日報道される各地で起こるテロ事件。旅行で行ったことのあるパリやこれから行ってみたい都市での襲撃はとても衝撃的でした。来年は再び安全に旅行を楽しめる世界になることを切望します。良いクリスマスとお正月を皆様がお過ごしになれますように。

(大野)

* * *

先日、介護福祉関係の方々とお話ししていたところ、成年後見人制度の問題点が話題になりました。成年後見人制度は、判断能力が十分でない方の後見を行う制度ですが、検査や治療に関する同意はできないため、身寄りのない認知症高齢者の診療で問題になることがあるとのこと。また、被後見人が亡くなった時点で後見人の権利と義務が消失するため、葬儀を誰が行うかという問題も起こるそうです。人の生活を支えるためには、医学以外にも学ばねばならないことがあるとあらためて感じました。

(枝元)

* * *

日頃の疲れがストレスか、久しぶりに口内炎ができました。しかも結構な大物が、2連発で。痛くて食べるのも大変なのですが、何より話す時が痛く、診療にとっても不便です。「今日は僕の調子が悪いので話は少なめね」では済まないもので、いつもと同じ診療を提供すべく、涙をこらえながら話しています。常日頃からの体調管理とストレスをためないこと、「いつも通り」の大切さを再認識している今日この頃です。

(西田)

* * *

最近、12月上旬にあるOSCE(客観的臨床能力試験)に向けての実習の毎日です。3年生の時に模擬患者として参加した際には、そんなに難しくなさそうという印象だったのですが、いざ4年生になり実習を受けてみると注意しなければならない細かいポイントがたくさんあって、想像していたほどスムーズにはいかず、診察というのはなかなか難しいものなのだなあと感じています。来年からはいよいよ病院での実習が始まるという実感が湧いてきた今日この頃です。

(佐井)

* * *

10月に米子で中川日医副会長の地域医療構想の講演を聴きました。その中で印象に残ったのは医療提供体制の変化です。この10年間で病院数は7%減少、有床診療所の4割が無床化、公立病院は2割減少、病床数は13万床減少(7.1%減)。人口減少にともない患者数も少なくなるため医療機関も生き残りのための改革が必要であり、今後も病床数の自然減少は続くと考えられます。地域医療構想では病床数の削減に大きな関心が寄せられていますが、本来の目的である不足している機能の病床の手当てが大切になると感じました。

(佐々木)

* * *

今 月 の ト ピ ッ ク ス

会長のページ 介護報酬改定について

今月の河野会長のお話は介護報酬改定についてです。地域包括ケアシステムでは、医療と福祉・介護は地域のお年寄りを守るための大事なパートナーとされていますが、その介護事業所の閉鎖が続いているそうです。介護報酬の減額改定が原因のようです。来年の診療報酬改定でもマイナス改定「先にありき」の感ですが、国のお金の使い方を一考したいものです。

3 ページ

診療メモ 新興感染症：中東呼吸器症候群(MERS: Middle East Respiratory Syndrome)について

2012年にウイルスが同定されたばかりの新興感染症である中東呼吸器感染症(MERS)について、高城一郎先生に解説していただきました。韓国での流行は一人の中東からの帰国者を発端に医療機関で拡大したということですから、私たちも注意が必要です。サウジアラビアでは集団感染が今も発生しているとのこと。患者のほかに、ヒトコブラクダが感染源として疑われているそうです。

64 ページ

宮大医学部学生のページ 医師臨床研修マッチング(研修医マッチング)について

臨床研修必修化に伴うマッチング制度は、今年で 13 年目を迎えるそうです。研修医の希望と病院側の意向を「筆筒長もち花一匁」式になんとなく決めているのだら程度の認識でしたが、このアルゴリズムを考案したのは、二人のノーベル経済学賞受賞者だそうです。マッチング協議会のホームページでこのアルゴリズム図解を動かしてみると、実に楽しい経験ができました。医学科 6 年川上勲さんからの紹介です。66 ページ

日 州 医 事 第 796 号 (平成 27 年 12 月号) (毎月 1 回 10 日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550
<http://www.iyazakimedor.jp/> E-mail: office@iyazakimedor.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副委員長 釜付 弘志、沖田 和久
委 員 篠原 立大、中村 豪、上條 苑子、押川 隆
大野 妙子、西田 隆昭、岡本健太郎、枝元 真人、佐井 佳世
担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 荒木 早苗、佐々木 究
事 務 局 学術広報課 瀬戸山千春、牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。
定 価 350 円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)